

「本校の目的」

高知工業高等専門学校学則

制 定 昭和38年 4月22日
一部改正 令和 元年 5月29日

第1章 本校の目的

第1条 本校は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

第2章 修業年限、在学期間、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

第2条 修業年限は、5年とする。

第3条 在学期間は、7年を超えることはできない。

第4条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第5条 学年を分けて次の2期とする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

第6条 休業日は、次のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長は、これらの休業日を授業日に振り替えることがある。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日及び土曜日

(3) 開校記念日 4月22日

(4) 春季休業 4月1日から4月7日まで

(5) 夏季休業 8月12日から9月30日まで

(6) 冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで

(7) 学年末休業 3月20日から3月31日まで

2 前項に規定する休業日のほか、臨時の休業日は、校長がそのつど定める。

第7条 授業終始の時刻は、校長が別に定める。

第3章 学科、学級数、入学定員、教育の目的及び教員組織

第8条 学科、学級数及び、入学定員は、次のとおりとする。

学 科	1 学年及び2 学年の学級数	入学定員
ソーシャルデザイン工学科	4	160人

2 前項に規定する学科に、第3学年から次のコースを設け、コースの定員は別に定める。

エネルギー・環境コース

ロボティクスコース

情報セキュリティコース

まちづくり・防災コース

新素材・生命コース

第8条の2 学科における教育の目的は、次のとおりとする。

ソーシャルデザイン工学科は、次の人材を養成することを教育の目的とする。

~~~~~（後略）~~~~~

出典「学生便覧（高知工業高等専門学校学則）」

## 「準学士課程の教育の目的」

## 高知工業高等専門学校学則

制 定 昭和38年 4月22日  
一部改正 令和 元年 5月29日

## 第1章 本校の目的

**第1条** 本校は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

## 第2章 修業年限、在学期間、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

**第2条** 修業年限は、5年とする。

**第3条** 在学期間は、7年を超えることはできない。

**第4条** 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

**第5条** 学年を分けて次の2期とする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

**第6条** 休業日は、次のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長は、これらの休業日を授業日に振り替えることがある。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (2) 日曜日及び土曜日
- (3) 開校記念日 4月22日
- (4) 春季休業 4月1日から4月7日まで
- (5) 夏季休業 8月12日から9月30日まで
- (6) 冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで
- (7) 学年末休業 3月20日から3月31日まで

2 前項に規定する休業日のほか、臨時の休業日は、校長がそのつど定める。

**第7条** 授業終始の時刻は、校長が別に定める。

## 第3章 学科、学級数、入学定員、教育の目的及び教員組織

**第8条** 学科、学級数及び、入学定員は、次のとおりとする。

| 学 科          | 1 学年及び2 学年の学級数 | 入学定員 |
|--------------|----------------|------|
| ソーシャルデザイン工学科 | 4              | 160人 |

2 前項に規定する学科に、第3学年から次のコースを設け、コースの定員は別に定める。

- エネルギー・環境コース
- ロボティクスコース
- 情報セキュリティコース
- まちづくり・防災コース
- 新素材・生命コース

**第8条の2** 学科における教育の目的は、次のとおりとする。

ソーシャルデザイン工学科は、次の人材を養成することを教育の目的とする。

(育成する人材像)

技術や情報が急速に高度化・多様化する現代のダイナミックな変化に即応できるよう、幅広い分野の知識・技術に触れ、自ら選択した特定領域の専門知識と他分野の知識を複合・融合できるハイブリッド型の知識・技術を備えた人材を育成する。また、倫理観と社会的責任感をもって主体的に行動でき、地域や世界が抱える課題を解決するための、判断力、実行力、チーム力などの人間力を備えた人材を育成する。

(学習・教育目標)

- (A) 倫理観と社会的責任感をもって行動できる
- (B) 幅広い知識・技術を融合・協働・相乗できる
- (C) 専門領域の知識・技術を修得し、地域社会に貢献できる
- (D) 国際適応力を備え、グローバルに活躍できる
- (E) 地域や世界が抱える課題解決のための創造力と技術力、チーム力が発揮できる

2 各コースが養成する人材は次のとおりとする。

- (1) エネルギー・環境コースは、電気・電子システム技術の中心となる、生活を豊かにする情報通信技術とエレクトロニクス、生活を支える環境に優しい電気エネルギー技術やその環境技術を幅広く学び、高度情報化社会を支えるハードウェア、ソフトウェアからシステムまでをデザインできる実践的な技術を修得し、これからの社会をリードする電気・電子・情報通信システム産業及びエネルギー関連産業を担う人材を育成する。
- (2) ロボティクスコースは、介護や福祉、災害救助をはじめ、医療・福祉・農業・食品加工分野など社会で実際に活用・実装が期待されているロボットテクノロジーについて幅広い知識を身に付けるとともに、基幹産業として今後の発展が期待されているロボット関連産業を担い、地域社会でこれらの産業を育成できる幅広い知識と技術を持ち、人々の社会生活をデザインできる人材を育成する。
- (3) 情報セキュリティコースは、高度情報化社会で重要となる情報関連技術について、基礎から応用まで幅広い知識を身に付けるとともに、情報通信、ネットワーク、ハードウェアを含めたコンピュータシステム、特に情報セキュリティに関する知識と実践的な技術を修得し、人々の健全で安心・安全な暮らしと豊かな社会をデザインするとともに、その実現に貢献できる専門的・学際的な人材を育成する。
- (4) まちづくり・防災コースは、土木・建築を主とした幅広い専門知識を融合し、社会基盤としての「まちづくり・住まいづくり」ができ、また地震・洪水などの自然災害から人々の暮らしを守る防災技術を持ち、防災関連産業の振興や防災関連技術の発展に寄与でき、地球全体を視野に入れた環境を総合的にデザインできる人材を育成する。
- (5) 新素材・生命コースは、化学や生物学の基礎から応用までの幅広い知識をもとに、化学工業・環境・情報通信・精密機器分野などで利用されている高機能材料並びに医薬品製造・食品産業・環境分野などで生物の機能を活かす生命科学に関する知識と実践的な技術を修得し、地域社会からグローバル社会において、これからの未来を支える新素材及び生命科学関連産業の担い手になるべく、人類に有益なモノをデザインできる人材を育成する。

## 「専攻科の教育の目的や定員」

## 高知工業高等専門学校学則

制 定 昭和38年 4月22日

一部改正 令和 元年 5月29日

## 第1章 本校の目的

**第1条** 本校は、教育基本法の本質にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

~~~~~ (中略) ~~~~~

第48条 専攻、入学定員及び教育の目的は、次のとおりとする。

| 専 攻 | 入学定員 | 教育の目的 |
|-----------|------|---|
| 機械・電気工学専攻 | 8人 | 高専本科の機械工学科及び電気情報工学科のカリキュラムの上に立って、エネルギーや環境及び情報・制御技術に関わる基礎及び専門科目を教授し、ロボットや新エネルギー開発、環境機器や情報機器の開発など、日本の産業の基幹となる機械・電気融合分野で必要とされる実践的かつ創造的な研究・開発能力を育成する。 |
| 物質工学専攻 | 4人 | 高専本科の物質工学科のカリキュラムの上に立って、化学やバイオ技術ならびに環境技術に関する基礎及び専門科目を教授し、新素材や機能性材料の創製、微生物を利用した有用物質の生産、環境対策等で必要とされる実践的かつ創造的な研究・開発能力を育成する。 |
| 建設工学専攻 | 4人 | 高専本科の環境都市デザイン工学科のカリキュラムの上に立って、社会・環境・構造物を総合的にデザインする学問を教授し、地震・台風などの自然災害から人々の暮らしを守る社会基盤整備に置いて必要とされる実践的かつ創造的な研究・開発能力を育成する。 |

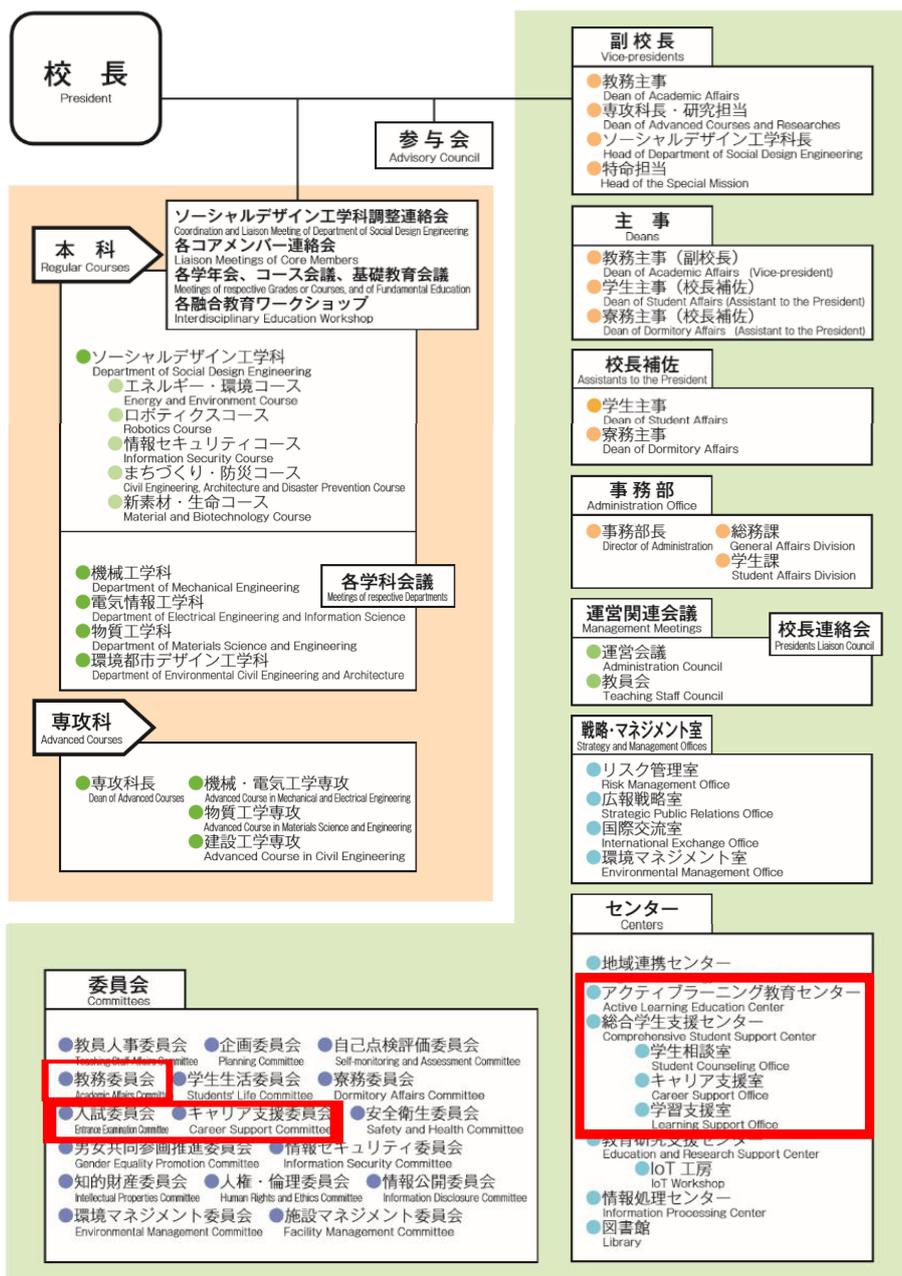
~~~~~ (後略) ~~~~~

出典「学生便覧（高知工業高等専門学校学則）」

「高知工業高等専門学校の運営組織がわかる資料」

National Institute of Technology, Kochi College

運営組織図 Organization Chart



## 「高知工業高等専門学校教務委員会規則」

### 高知工業高等専門学校教務委員会規則

制 定 昭和43年 4月 1日

一部改正 平成28年 2月18日

(設置)

**第1条** 高知工業高等専門学校に、高知工業高等専門学校教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

**第2条** 委員会は、本校における教育を円滑に遂行するために必要な事項を審議し、基礎教育及び各コース間の連絡調整を図るとともに問題の処理にあたる。

(審議事項)

**第3条** 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議するものとする。

- (1) 教育課程の編成及び実施に関すること。
- (2) 学業の履修及び成績に関すること。
- (3) 指導要録に関すること。
- (4) 入学、転科、休学、退学、転学、留学及び卒業に関すること。
- (5) 校外実習及び見学旅行に関すること。
- (6) 学校行事を総括調整すること。
- (7) その他教務に関し、委員長が必要と認める事項。

(組織)

～～省略～～～～～～～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～

出典「高知高専HP : [https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/102080\\_kisoku-280218.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/102080_kisoku-280218.pdf)」

## 「高知工業高等専門学校総合学生支援センター規則」

高知工業高等専門学校総合学生支援センター規則

制 定 平成27年 2月19日

(趣旨)

**第1条** この規則は、高知工業高等専門学校内部組織規則第3条第6項の規定に基づき、高知工業高等専門学校総合学生支援センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** センターは、キャリア教育支援、学習支援及び学生相談を実施し、学生に対する総合的な支援を行うことを目的とする。

(組織)

**第3条** センターに、前条の目的を達成するため、次の室を置く。

- (1) キャリア支援室
- (2) 学習支援室
- (3) 学生相談室

2 前項の組織については、別に定める。

(業務)

～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

出典「高知工業高等専門学校 総合学生支援センター規則」

## 「高知工業高等専門学校入試委員会規則」

### 高知工業高等専門学校入試委員会規則

制 定 平成 8年 3月 7日  
一部改正 平成28年 2月18日

(設置)

**第1条** 高知工業高等専門学校に、高知工業高等専門学校入試委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

**第2条** 委員会は、入学者選抜に関する事項を審議することを目的とする。

(審議事項)

**第3条** 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議するものとする。

- (1) 入学者選抜に係る重要事項の企画及び決定に関すること。
- (2) 入学者選抜に関する担当係員の委嘱に関すること。
- (3) 入学者の選考及び決定に関すること。
- (4) その他入学者選抜に関し、委員長が必要と認められる事項

(組織)

**第4条** 委員会は、次の委員で組織する。

- (1) 校長
- (2) 教務主事、学生主事及び寮務主事

～～省略～～～～～～～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～

出典「高知高専HP:[https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/102060\\_kisoku-280218.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/102060_kisoku-280218.pdf)」

## 「高知工業高等専門学校学科再編推進室会議」

## 第1回 学科再編推進室会議

日時：平成27年10月1日（木）16：30～

場所：管理棟2階中会議室

## 議題

## 1. 今後の学科再編推進について

- ① 学科再編推進室メンバーの確認（来年度を見据えて取り組みを始める）（別紙）
- ② 学科再編を推進するための課題整理
  - 課題
    - ・ 教員組織の指揮/意思決定系統などについて（現段階では、詳細まで明確ではない）
    - ・ 教員の業務の割り振りについて
    - ・ 推進室の運用の仕方について（WG設置，室長と副室長＋必要な室員での打合せ）
    - ・ 「プレコース長」の名称⇒「基礎教育主任？」（1，2年生担当学年集団）
    - ・ **カリキュラム運用について・・・（別紙：授業担当教員割振り表）**
    - ・ **地域連携について（学生が5年間を通じて地域と関わる仕組みづくり）**
    - ・ **グローバル化について**
    - ・ 国際交流について
    - ・ 校舎改修計画及びコース環境整備について
    - ・ 今後の教員採用計画について
    - ・ 今後の物件費の要求について
    - ・ 来年度からの予算配分方法について
    - ・ 規則改正について
    - ・ 事務組織について
- ③ 具体的に取り組むための組織体制の検討（別紙）
  - ・ 既存の組織の活用，必要に応じてWG設置
  - ・ 各コース長が決めるのではなく，コアメンバーでの協議等も必要となる
- ④ 今後のスケジュール
  - ・ 10月中旬・・・第1回会議後に各担当が具体的計画（案）を作成  
（必要に応じてWG設置，あるいは関連する既存組織で原案作成）
  - ・ 10月下旬・・・第2回会議で進捗状況の報告・検討，各担当部署で協議  
授業担当教員割振り表（案）に基づき，授業目標作成 締切 10/31
  - ・ 11月中旬・・・平成28年度校務分掌決定（11月運営会議）
  - ・ 11月中旬・・・第3回会議で進捗状況の報告・検討，各担当部署で協議
  - ・ 12月初旬・・・各コース会議を開催，開講計画等作成準備
  - ・ 12月中旬・・・第4回会議で進捗状況の報告・検討

## 2. その他

出典「第1回学科再編推進室会議議事録」

## 「教務委員会議事録(平成 30 年度教務委員会まとめ)」

## 平成 31 年度 第 1 回教務委員会議事録

日 時：平成 31 年 4 月 3 日（水）16：10～17：20

場 所：管理棟中会議室

出席者：

欠席者：

陪席者：

司 会：

- ・会議資料は、サイボウズで学内公開  
ルート > 会議・委員会 > 教務委員会 > 平成 31 年度 > 教務委員会 >
- ・教務委員会議事録は、委員会の翌週月曜日午前中までにサイボウズにアップ

【主事挨拶】重点課題：入学生確保、SD 4 年生の地域協働演習および来年度の卒業研究に向けての取り組み（コース横断型）

【自己紹介】

【報告事項】

[行事・運営関係]

## 1. 教務関係行事

4/6(土) 1 年生教科書販売等

4/7(日) 入学式(第 2 体育館), 1 年生保護者説明会, 1 年生保護者と担任・学年主任との懇談会

4/8(月) 8:40 1,2h 学級オリエンテーション

10:40 始業式(第 2 体育館)

10:30～13:30 専攻科生教科書販売(第 1 体育館)

12:00 2～5 年生教科書販売(第 1 体育館)

13:20 1 年生実力診断テスト(数学, 英語)

14:00 全専攻科生オリエンテーション(視聴覚室)

4/9(火) 授業開始

4/16(火), 17(水) 学生定期健康診断

4/25(木), 26(金) 1 年生研修(室戸青少年自然の家) 全クラス

## 2. 平成 30 年度学生異動 {別紙}

H30 年度退学者数総計 23 名, 留年者数総計 26 名, 休学者数総計 8 名

## 3. 平成 31 年度 在籍学生数・外国人留学生・編入学生 {別紙}

外国人留学生 6 名含み本科生 825 名, 専攻科生 31 名

## 4. 平成 30 年度後学期特別活動実施報告書 {別紙}

## 5. 平成 31 年度開講計画(修正版)について {別紙}

授業担当教員の確定に伴う修正。専攻科「応用情報処理」の開講時期を半期から通年に変更。

[授業・試験関係]

6. シラバスについて (全教員宛にメール)

授業担当教員は、最終確認後、初回授業時にシラバスの内容(特に評価割合)の説明を行う。  
(基本印刷配布だが、ノートPC等を使用している高学年はweb閲覧での説明も可)  
非常勤の先生方には、教務主事から説明依頼を行う

7. 数学、英語の実力診断テストの実施について(4/8(月)13:20~)

5時限目(英語) 監督 1組 ■■■先生, 2組 ■■■先生, 3組 ■■■先生, 4組 ■■■先生  
6時限目(数学) 監督 1組 ■■■先生, 2組 ■■■先生, 3組 ■■■先生, 4組 ■■■先生  
数学は「基礎数学IA」、英語は「英語IA」の時間数にカウントする  
試験校時で実施。

8. 時間割変更依頼

引率教員の時間割変更を計画し、教務係に提出をお願いします。

(各学年団の教務委員が調整の上、学年単位で提出ください。)

○1年生研修 4/25(木)・26(金) 全クラス1泊2日研修

○2年生研修 5/15(水)・16(木) 各組日帰り研修

1年生研修の担任・副担任の時間割変更のとりまとめを学年団の教務委員をお願いします。

2年生研修の日程は確定していませんが、確定し次第、時間割変更をお願いします。

【時間割変更方法】

記載者の名前と押印で時間割変更表を作成し、関係クラス・教員への周知は記載者がこれまで通りコピーで行う。教務主事室・教務係用として2部提出し、変更作業は教務係が電子出席簿で行うことになっています。

書式ファイルは、サイボウズ、教員会のフォルダーにあります。

9. 再試験受験手続

6/23(日) 通年及び後学期科目、前学期1回目不合格科目対象の再試験

5/24(金)17:00 再試験受験願提出締切(教務係) → 学生への周知は4月下旬頃

担任の先生方には、学生への周知をお願いします。

10. 平成31年度選択科目(コース別)の履修辞退について{別紙}

クラス掲示:4/8(月) 教務係への提出:4/26(金)17:00 厳守

担任の先生方には、学生への周知をお願いします。辞退願の提出分については、原則、辞退を認めますが、修得単位数不足が懸念される場合などには、認めない場合があります。

後期選択科目についても、同様の手続きとなります。改めて通知します。

継続4学科の学生については、履修辞退は認めません。

11. 平成31年度1学期eラーニング高等教育連携に係る遠隔教育による単位互換制度の特別聴講学生募集について(長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学){別紙}

4・5年生及び専攻科生には教務係よりメール周知。

受講希望があれば4月10日(水)担任が取りまとめ教務係へ

(専攻科生は各自教務係へ申請)

単位不足の補充に有効である場合がある

12. Webシラバスのシステムに対する意見・要望について

久留米高専より依頼あり。いただいた意見を参考に2019年度改修内容を決定予定。

システムに関して、使いにくい点など、ご意見がありましたら、教務係 高橋主任までメール等でご連絡ください。

13. 地域協働演習実施に関する答申 {別紙}

7月頃説明会を実施。新しい「フィールド調査」の開拓にご協力をお願いします。

[学校 PR, 入試関係]

14. 新入生および3年生アンケート {別紙}

1年生 4/16 特活で実施 一部機構からの指示により項目を追加 (アドミッションポリシーの理解)

3年生 4/8HR で実施 キャリア教育についての項目を追加 (キャリア支援室より依頼あり)

15. 学校PR活動の予定 {別紙}

5月下旬～学校紹介 (高知県下中学校)

8/24(土), 25(日) オープンキャンパス

9/27(金) 体験入学

10/12(土) キャンパスツアー

広報誌・ポスターの進行状況 撮影日: 4/11(木)・4/12(金)

広報誌・ポスター納品日 5/27(月) 学校紹介説明会 5/30(木)予定

特にオープンキャンパス・体験入学・キャンパスツアー体験学習については、受験者数の目安にもなり、各テーマできるだけ多くの参加者を受け入れられるようお願いします。併せて、参加希望者の増加のためのテーマの見直しもお願いします。

16. 中学高専連絡会

四万十会場: 6/7(金), 本校会場: 6/13(木)

[専攻科関係]

17. 専攻科オリエンテーション 4/8(月) 14:00 から 視聴覚室 {別紙}

変更点: 校内全面禁煙。TA 人数は予算の関係で不確定。

18. TOEIC 補習 ( ) 先生) 火・木曜日 9 限目

受講希望調査を実施

[その他]

19. 終業式・卒業式・入学式・始業式の反省事項・意見

→学年会議・学科会議でご意見をお願いします。【次回の教務委員会】

20. クラス別緊急連絡網, 学級役員届, 前学期特活計画の作成依頼: 締切 4/15 (月) 主事室まで

書式: ルート > 会議・委員会 > 教務委員会 > 平成 31 年度 の各フォルダー

学級役員: WEB 登録(<http://vin.kochi-ct.ac.jp/now/staff-logon.php>)

→上記への入力 は 4/9(火)以降に可能 担任にメールで周知する

21. 履修単位と学修単位について {別紙}

4, 5 年学生へ担任からの説明を依頼

説明書は教室の教卓の上にクラス全員分を配布済み

SD 4 年生分の学修単位を追記。4 年生原級留置学生の読み換え科目については、読み換え前の単位を採用。(学修単位科目を履修単位科目によって読み換える場合、学修単位分の追加の課題を課すなどの対応が考えられる。)

22. 昨年度定期試験の問題と模範解答を学科単位でまとめて、CD-ROM で教務係へ提出

未提出の学科はよろしくをお願いします (昨年度、教務委員の先生、よろしくをお願いします。)



旧カリキュラム科目「環境地理学」の開講，雇用期間の修正，■■■■先生（レポートセミナー）の追加

4. 平成31年度学校安全計画について {別紙}

各コースの実験・実習についての安全計画。「安全学習」部分が教務委員会担当。情報セキュリティーコースについても追記。旧カリキュラム科目「環境地理学」部分については、「総合理科」で指導。コースで確認いただいて，次回委員会でご意見があれば出していただきたい。

【各学年会・各科からの要望・意見】

なし

昨年度分のご意見等もあれば，次回委員会で伺います。

次回委員会：4月17日（水）15：00から 管理棟 2F 中会議室

出典「平成31年度 第1回教務委員会議事録」

## 「平成30年度教務委員会まとめ」

平成 31 年 3 月

## 平成 30 年度教務委員会まとめ

**1. 規則・規定・内規・申し合わせ等**

平成 30 年度卒業・進級判定に関する申し合わせ事項（案）について(⑱2/15 審議)

**2. 授業・カリキュラム等****【学科再編】**

希望コース選択に関する予備調査

- ・ 3 年生配属後アンケート (①4/4, ③5/9 報告)
- ・ 1 年生第 2 回(①4/4)
- ・ 2 年生第 3 回(⑥6/20 報告)
- ・ 1 年生第 1 回(⑨8/1, ⑩9/26 報告)
- ・ 2 年生第 4 回(⑨8/1, ⑪10/10 報告)
- ・ 2 年生コース選択シミュレーション概要(⑫10/24 報告)
- ・ コース選択本調査(⑮12/5 報告, ⑯12/19, ⑰1/31 審議)

**【学生異動】**

退学願(①4/4, ⑦7/4, ⑨8/1, ⑩9/26, ⑮12/5, ⑰1/16, ⑲2/15, ⑳2/27 審議)

休学願(①4/4, ③5/9, ⑪10/10, ⑭11/21 審議)

復学願(⑩9/26 審議)

H29 年度学生異動(退学者数, 留年者数, 休学者数)について(①4/4 報告)

H30 年度在籍学生数・外国人留学生・編入学生(①4/4 報告)

学生氏名の変更(①4/4 報告)

研究生修了 (⑲2/15 報告)

**【授業計画・シラバス】**

シラバスについて(①4/4 報告)

前学期末試験後の特別時間割(⑥6/20 報告)

H30 年度非常勤講師雇用計画の変更(①4/4, ③5/9, ⑩9/26, ⑪10/10 審議)

H30 年度後期時間割(案)(⑧7/18 報告)

H30 年度開講計画変更(①4/4, ③5/9 報告)

H31 年度開講計画

作成依頼 (⑫10/24 報告) 計画書(⑰1/16 審議) 修正版 (⑱1/30, ⑲2/15 報告)

変更 (⑳2/27 審議)

H30 年度 5 年生卒業試験後の時間割(⑮12/15 審議, ⑱1/30 報告)

H31 年度 Web シラバス作成(⑫10/24, ⑱1/30 報告)

H31 年度時間割記載の単位なし科目, 留学生対象特別科目のシラバス作成(⑮12/5, ⑱1/30 報告)

H31 年度非常勤講師雇用計画(⑱1/30, ⑳2/27 審議)

大掃除について (12/21) (⑩9/26 審議)

科目到達目標の確認 (⑬11/7 審議)

高等教育段階の教育費負担軽減新制度について(⑭11/21, ⑮12/5, ⑯12/19, ⑱1/30 審議)

**【授業科目】**

時間割変更依頼(1,2 年生研修)(①4/4 報告)

原級留置学生の再履修免除科目について(①4/4 審議)

4 年生原級留置学生の読み替え科目について

(⑭11/21, ⑮12/5, ⑯12/19, ⑰1/16, ⑱1/31, ⑲2/15 審議)

1 年生実力診断テストの実施(①4/4 報告)

履修単位と学修単位について(①4/4 報告)

夏季休業中の課題について(⑦7/4, ⑧7/18 報告)

#### 校外授業届

(②4/18 報告)SZ1・2 特別研究

(③5/9 報告)

(⑩9/26 報告)SD3 機能性材料(9/25)

(⑫10/24 報告)Z4 土木建築設計製図Ⅲ、Z5 卒業研究(10/26)

SZ1・2 建設工学演習 (11/19)

(⑮12/5 報告)SD1 企業見学(12/18)

Z5 卒業研究(12/14)

#### 外部講師による授業届

(⑯12/19 報告)E5 エレクトロニクス実装工学(12/20)

SZ1 建設材料学特論(1/23)

I3 情報工学実験(12/18)

(⑰1/16 報告)E5 エレクトロニクス実装工学(1/10)

I3 離散数学 (1/21)

I3 確率・統計解析 (1/31)

I3 情報工学実験 I (5/11)

I3 情報工学実験 I (11/6)

他大学の集中講義(⑧7/18 審議, ⑩9/26, ⑱1/30 報告)

卒業研究発表会の日程と場所(⑰1/16 報告)

応用情報処理(⑪10/10 報告)

Z 科卒業設計講評会について (⑱1/30 審議)

H29 年度単位なし科目実施報告(②4/18 報告)

H30 年度前学期時間割記載の単位なし科目 実施報告依頼(⑩9/26 報告) 報告書公開(⑪10/10 報告)

e ラーニング高等教育連携に係る特別聴講学生について(①4/4, ②4/18, ⑩9/26 報告)

1 学期受講結果(⑮12/5 報告) 2 学期受講結果(⑳2/27 報告)

e ラーニング (長岡技術科学大学戦略的技術者育成アドバンストコース) (⑰1/16 報告)

平成 30 年度「地方創生推進士」履修証明について (⑱1/30 審議, ⑳2/27 報告)

H31 地方創生推進士育成科目について(⑱1/30 審議)

#### 【選択科目】

3 年生選択科目 (コース別) の履修について(①4/4, ③5/9 報告)

H30 環境都市デザイン工学科(4・5 年生)専門選択科目履修願(①4/4 報告) 変更(⑪10/10 審議)

4 年生選択科目(必履修)・5 年生選択科目について(②4/18 審議)

4 年生後期選択科目(数学概論 A/B)(⑤6/6 報告, ⑧7/18, ⑩9/26 審議)

4 年生後学期必修選択科目

案内 (⑥6/20 報告) 選択状況(⑧7/18 報告) 科目変更(⑩9/26 報告)

2・3・4 年生後学期単位なし選択科目 案内 (⑥6/20 報告) 選択状況(⑧7/18 報告)

実力強化数学演習(2 年)について(⑥6/20 報告)

実力強化英語演習(3年)について(④5/23 報告)  
H31 年度 3 年生選択科目 (コース別) の履修について(⑩1/16, ⑱2/15, ⑳2/27 報告)  
H31 年度 4 年生選択科目 (コース別) の履修について(⑮12/19, ⑱2/15, ⑳2/27 報告)  
H31 年度 5 年生選択科目 (コース別) の履修について(⑩1/16, ⑱2/15, ⑳2/27 報告)  
H31 物質工学科・環境都市デザイン工学科 4・5 年生選択科目履修状況(⑳2/27 報告)  
時間割記載の単位なし科目の実施報告提出依頼 (⑳2/27 報告)

#### 【定期試験】

定期試験の試験時間について(②4/18 報告)  
H29 年度定期試験問題と模範解答の PDF 化とその保存 CD の提出について(①4/4 報告)  
H30 年度定期試験問題と模範解答の PDF 化とその保存 CD の提出について  
(②4/18, ⑤6/6, ⑱2/15, ⑳2/27 報告)  
前学期中間試験日程(②4/18 報告)  
前学期末試験 (本科), 前学期試験 (専攻科) 日程 7/27~8/3(⑦7/4 報告)  
前学期末試験成績集計結果(⑩10/10 報告)  
後学期中間試験成績集計結果(⑯12/19 報告)  
卒業試験・学年末試験 (本科) 日程 2/12~20(⑰1/30 報告)  
専攻科後学期試験日程 2/12~14(2 年), 2/12~20(1 年)(⑱1/30 報告)  
時間延長(⑦7/4 報告)  
前期中間試験の受験について(④5/23 報告)

#### 【再試験 (第 1 回) 6/17, (第 2 回) 12/23】

1 手続き(①4/4, ②4/18, ③5/9, ④5/23 報告) 試験時間割(⑤6/6 報告) 結果(⑦7/4 報告)  
2 手続き(⑫10/24, ⑬11/7, ⑮12/5, ⑯12/19 報告) 結果(⑱1/30 審議)

#### 【補講調査】

- ・ 6/5 (③5/9, ④5/23 報告)
- ・ 8/3 (⑦7/4 報告)
- ・ 12/4 (⑫10/24, ⑬11/7, ⑭11/21 報告)
- ・ 2/20 (⑱1/30, ⑱2/15 報告)

#### 【授業評価アンケート】

前学期授業評価アンケートの実施 7/2~7/20 (③5/9, ④5/22 報告)  
後学期授業評価アンケートの実施 12/10~12/21(⑮12/5, ⑯12/19 報告)  
教員による授業参観 7/2~20(④5/22 報告)  
学生による教員評価(⑧7/18 報告)  
学習教育目標達成度評価アンケート(⑱2/15 報告)

#### 【特別活動】

平成 29 年度後学期特別活動実施報告書(①4/4 報告)  
平成 30 年度前学期特別活動実施計画書作成依頼(②4/18 審議)  
平成 30 年度前学期特別活動実施報告書作成依頼(⑨8/1 報告) 実施報告(⑩10/10 報告)  
平成 30 年度後学期特別活動実施計画書作成依頼(⑨8/1 報告, ⑩10/10 審議)  
1 年生「防災学習」5/28 実施 講師: XXXXXXXXXX (②4/18 報告)

#### 【混合学級関連】

#### 【公認欠席】

留学生について(②4/18)  
県体参加 5/21(③5/19 報告)

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムへの参加(⑤6/6 報告)

#### 【学級閉鎖】

#### 【電子出席簿等】

出欠登録依頼(④5/23 報告)

学生による授業科目の出欠状況確認(④5/23 報告)

教務システムの移行について(⑮12/5 報告)

#### 【単位認定】

転科学生の単位調整科目について(②4/18)

H30 台湾国立聯合大学研修単位認定について(⑮1/30, ⑮2/15 審議)

技能審査の認定単位における情報系科目の専門科目への切替について(⑤6/6, ⑥6/20 審議)

知識及び技能審査の単位認定(⑰1/16 報告) 単位認定結果(⑮2/15, ⑳2/27 審議)

熊本高専「2018 年度高専生のための英語キャンプ」単位認定について(⑩9/26 審議)

中国地区 8 高専共同開催プログラム (海外語学研修旅行：広島商船高専) への参加

(③5/9 報告, ⑪10/10 審議)

Life is Tech Leaders 研修の校外実習としての単位認定について (⑫10/24 審議)

日本語検定の単位認定について (⑱1/30 審議)

#### 【海外研修】

短期留学生受入 (台湾国立聯合大学) (④5/23, ⑥6/20, ⑦7/4 報告)

#### 【TA】

H30 年度 TA 学生(③5/9, ⑩9/25, ⑪10/10 審議)

H31 年度 TA 希望調査(⑱1/30 報告)

#### 【その他】

成績に対するクラス順位付けの指針について (⑰1/16, ⑱1/30, ⑲2/15, ⑳2/27 審議)

### 3. 入試・編入学試験

#### 【入学試験】

専攻科推薦選抜 5/26 (②4/18, ④5/23 報告) 選抜結果(⑤6/6 報告)

専攻科学力(前期)選抜 6/16 (②4/18, ⑤6/6 報告) 選抜結果(⑥6/20 報告)

専攻科学力(後期)選抜 11/3 (②4/18, ⑪10/10, ⑫10/24 報告)

専攻科社会人選抜 11/3 (②4/18, ⑪10/10 報告)

本科推薦選抜 1/12 (②4/18, ⑮12/5, ⑯12/19, ⑰1/16 報告)

本科学力選抜 2/17 (②4/18, ⑱1/30, ⑲2/15 報告) 選抜結果(⑳2/27 報告)

編入学学力選抜 11/3 (②4/18, ⑪10/10, ⑫10/24 報告)

H31 年度入学者選抜検査 (推薦) 面接員・評定員説明会(⑬11/7, ⑭11/21, ⑯12/19 報告)

### 4. 学校 PR 等

#### 【学校紹介】

学校 PR 活動の予定(①4/4 報告)

H30 学校紹介パンフレットの進行状況(②4/18, ③5/19 報告)

実施要項説明会 5/24(③5/9 報告)

県外中学校への学校紹介(⑤6/6 報告)

実施報告(⑫10/24 報告)

2回目の中学校訪問について 11/27-12/5(⑬11/7, ⑭11/21 報告) 実施報告(⑮12/5 報告)  
H31 学校紹介パンフレット 撮影 (⑰1/16, ⑱1/30 報告)

【中学・高専連絡会 6/1, 7】

実施(①4/4, ②4/18, ③5/9, ④5/23) アンケート集計結果(⑥6/20 報告)

【オープンキャンパス 8/18, 19】

テーマと担当者依頼(⑤6/6 審議)

ちらし (⑥6/20, ⑦7/4, ⑧7/18 報告) 協力学生(⑧7/18 報告)

報告とアンケート(⑩9/26 報告)

【体験入学 9/28】

テーマと担当者依頼(⑤6/6 審議)

参加人数(⑨8/1, ⑩9/26 報告) 実施報告(⑪10/10 報告)

【星瞬祭 11/4】

高専生による学校紹介(⑩9/26, ⑪10/10, ⑬11/21 報告)

中学校ロボコン大会での第一体育館の使用について 11/10 実施(⑪10/10 報告)

【キャンパスツアー 10/13】

実施内容依頼(⑥6/20 審議) 実施概要(⑧7/18 報告) ちらし(⑧7/18 報告)

実施報告(⑫10/24 報告)

【国立高専合同進学説明会(8/4, 8/5, 9/30)】

参加予定(⑧7/18 報告) 実施報告(⑩9/26, ⑪10/10 報告)

## 5. 行事等

【行事計画】

H31 行事計画

(⑩9/26, ⑪10/10, ⑫10/24, ⑬11/7, ⑭11/21, ⑮12/5, ⑯12/19, ⑰1/16, ⑱1/31, ⑲2/15 審議)

【1～3 年生研修】

2 年生研修の日程と引率教員(②4/18 報告)

【校外実習】

打合せ会(③5/19 報告) 報告会依頼(⑨8/1, ⑩9/26 報告) 単位認定(⑮12/15 審議)

【四国地区高専連携・交流事業にともなう「特別授業」 8/28-31】

案内(④5/23, ⑥6/20 報告) 参加学生数 (⑧7/18 報告) 報告(⑩9/26 報告)

【研修旅行 9/15～19, 17～21】

概要(⑧7/18) 実施報告(⑩9/26 報告)

【見学旅行 10/16～19, 10/17～20】

打合せ会(③5/19 報告) 業者選定(⑤6/6 審議) 保護者への通知文章(⑥6/20 報告)

引率教員および旅行行程表(⑩9/26 報告)

不参加学生の学科内指導計画依頼(⑩9/26, ⑪10/10 報告)

見学旅行の反省と不参加学生の学内指導報告(⑬11/7 報告)

## 【保護者会】

## 【授業参観】

授業参観について(②4/18 報告) 実施報告(アンケート集計)(③5/9 報告)

## 【式典関係】

H30 年度終業式・卒業式, H31 年度入学式・始業式の反省事項・意見(①4/4, ②4/18 報告)

H30 年度卒業式出席許可願の提出(⑱1/30, ⑳2/27 報告)

式典における代表学生(⑱1/30, ⑲2/15 審議)

H30 年度終業式・卒業式(⑲2/13 報告)

## 【新入生に対して】

新入生アンケート実施(①4/4 報告) まとめ(③5/9 報告)

数学, 英語の実力診断テスト(4/9)の実施について(①4/4 報告) 結果(③5/9 報告)

## 【学級役員】

前学期学級役員の選出依頼(①4/4 報告) 氏名一覧(Web 閲覧)(②4/18 報告)

後学期学級役員の選出依頼(⑨8/1 報告) 氏名一覧(⑩10/10 報告)

## 【緊急連絡網】

クラス別緊急連絡網作成依頼(①4/4 報告), 試行依頼 5/22-25(③5/9 報告)

アンケート結果(⑥6/20 報告)

## 【防災訓練】

防災訓練について(④5/23, ⑩9/26 報告)

## 【その他】

夏季休業中の寮宿泊希望調査について(⑥6/20, ⑦7/4 報告)

夏期休業前配布文書(⑨8/1 報告)

冬季休業前の配布文書(⑮12/15 報告)

## 6. 専攻科

専攻科オリエンテーションの実施(①4/4 報告)

学位授与申請説明会 7/20(⑦7/4 報告)

学位申請手続(⑩9/26 報告)

専攻科生との懇談会(⑰1/16 報告)

専攻科生年度末スケジュール(⑮12/5 報告)

H30TOEIC 補習(①4/4, ②4/18 報告)

TOEIC IP 団体受験 5/12 実施(④5/23 報告) 9/29 実施(⑤6/6, ⑩10/10 報告)

TOEIC スコア調査(⑱1/30 報告)

JABEE 修了判定審議依頼(③5/19 報告)

機械電気工学専攻(⑤6/6 報告) 物質工学専攻(④5/23 報告) 建設工学専攻(⑥6/20 報告)

専攻科再試験(⑱1/30 報告)

専攻科後期履修変更について(⑨8/1 報告)

補講調査 11/1,2 11/9,9 (⑫10/24 報告)

補講調査 2/20～28(1年生) 2/15～25(2年生) (⑱1/30 報告)

H30 年度特別研究発表会 (⑰1/16 報告)

H30 年度特別研究論文提出締切 (⑱1/30 報告)

H30 年度特別研究中間発表会 3/5 (⑲2/15 報告)

専攻科授業について (⑮12/5 報告)

## 7. 学習到達度試験・共通試験・実力試験

H29 実力試験結果(サイボウズ文書管理)(②4/18 報告)

2・3 年生 TOEIC Bridge 試験 1/17,1/18・4 年生 TOEIC-IP 試験 1/22

実施(⑫10/24, ⑬11/7 報告)

## 8. その他

平成 29 年度教務委員会まとめ(①4/4 報告)

知財教育について(⑧7/18 報告) 知財教育実施報告(⑮12/5, ⑰1/16, ⑱1/30 報告)

法人文書ファイルに係る管理簿(⑧7/18 報告)

H30 年度計画進捗状況(⑩9/26, ⑯12/19, ⑳2/27 審議)

H30 年度教務主事会議(⑯12/19 報告)

学科成績会議 (3/12) の開始時間について(⑳2/27 報告)

日経高専応援プロジェクト 2018 特別講義 (キャリア支援室) (⑫10/24 報告)

2018 年度エネルギー・環境施設の見学会 (⑫10/24 報告)

「MCC 推進に向けたポートフォリオ教育実践プロジェクト」アンケート調査(⑰1/16 報告)

MCC 対応実験スキル評価シートについて (⑰1/16, ⑱1/31 審議)

出典「平成 31 年度第 1 回 教務委員会 資料」

## 「OB教員による学習支援, レポート作成支援」

平成30年度総合学生支援センター 第3回連絡会議議題書および議事録

日時：平成30年10月9日（火）9:30～  
10:15

場所：学生相談室

出席者：  (学生相談室長)  
(キャリア支援室長)  
(学習支援室長)

## ○ 議題

## 1. 総合学生支援センターにおける学生支援, レポート作成支援について (別紙)

## (1) 学習支援について

- ①後学期からキャリアデザインルームを学習場所として提供する。  
(前学期末成績等をもとに, 学級担任が学生に声をかけて行くように勧めてもらう)
- ②対応する教員は, 本校教員 OB (数学, 物理, 化学, 機械, 電気, 物質, 土木分野)。
- ③高知高専 OB 教員の希望を優先し, 曜日時間割等を決定
- ④今年度は, 後学期に10月23日～2月1日 (学習支援24回実施予定)。  
時間帯は15時30分～17時

## (2) レポート作成支援について

- ①後学期から10月～1月まで月1回, 実験・実習レポート作成支援として「レポート作成セミナー」を開催する。講師は, 高知大学の坂本先生に依頼。
- ②場所はキャリアデザインルーム。参加学生については各学科, 各担任から参加を勧めてもらう。  
時間帯は16時～17時

## (3) 実施に向けての準備状況 (学生への周知方法など)

- ①総合学生支援センターからのお知らせ文書を作成・配付 (クラス掲示)
- ②担当教員向けに依頼文書を作成・配付
- ③実施報告書様式を作成, 毎回担当者に記載してもらう

～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

次回の連絡会 1月中旬 場所は学生相談室

出典「平成30年度総合学生支援センター 第3回連絡会議議題書および議事録」



①平成 28 年 12 月 16 日（金）から 17 日（土）にかけて台湾聯合大学の校長以下 3 名が来校し、本校及びデザコンの見学を行ったこと。

②平成 29 年 2 月 6 日（月）に開催予定の「参加会」について、協力の依頼があった。

次回（第 13 回）：平成 29 年 1 月予定（日時は未定）

出典「第12回学科再編推進室会議 議事概要」

高等専門学校現況表（令和元年5月1日現在）

| 事項              |                     | 記入欄                                                                                                                     |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                | 備考    |       |  |
|-----------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------|-------------------|-----------|-------------------------|-------------------------|---------------|--------------------|----------------|-------|-------|--|
| フリガナ            | 設置者                 | ドクリツギョウセイハウジンコクリツコウトウセンモンガッコウキコウ<br>独立行政法人国立高等専門学校機構                                                                    |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
| フリガナ            | 高等専門学校の名称           | コウチコウギョウコウトウセンモンガッコウ<br>高知工業高等専門学校                                                                                      |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                | 併設校：  |       |  |
| 高等専門学校本部の所在地    |                     | 高知県南国市物部乙200-1                                                                                                          |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
| 教育組織及び教員・教育支援者等 | 学科の名称               | 修業年限                                                                                                                    | 学級数             | 入学定員   | 編入学定員             | 学生定員      | 称号                      | 平均入学定員充足率               | 開設年度          | 別地校地               | 所在地            |       |       |  |
|                 | ソーシャルデザイン工学科        | 5年                                                                                                                      | 4学級             | 160人   | (年次)人<br>(4年次)若干名 | 800人      | 準学士                     | 1.03倍                   | H28           | 無                  | 高知県南国市物部乙200-1 |       |       |  |
|                 | 計                   | —                                                                                                                       | 4               | 160    | —                 | 800       | —                       | —                       | —             | —                  | —              |       |       |  |
| 【基準2・6・8】       | 専攻の名称               | 修業年限                                                                                                                    | 入学定員            | 編入学定員  | 学生定員              | 平均入学定員充足率 | 開設年度                    | 別地校地                    | 基礎学科等名称       |                    |                |       |       |  |
|                 | 機械・電気工学専攻           | 2年                                                                                                                      | 8人              | (年次)人  | 16人               | 0.84倍     | H12                     | 無                       | 機械工学科、電気情報工学科 |                    |                |       |       |  |
|                 | 物質工学専攻              | 2年                                                                                                                      | 4人              |        | 8人                | 0.90倍     | H12                     | 無                       | 物質工学科         |                    |                |       |       |  |
|                 | 建設工学専攻              | 2年                                                                                                                      | 4人              |        | 8人                | 1.85倍     | H12                     | 無                       | 環境都市デザイン工学科   |                    |                |       |       |  |
|                 | 計                   | —                                                                                                                       | 16              | —      | 32                | —         | —                       | —                       | —             |                    |                |       |       |  |
| 学生募集停止中の学科・専攻   |                     | 機械工学科（平成28年度学生募集停止、在学生数39人）、電気情報工学科（平成28年度学生募集停止、在学生数42人）、物質工学科（平成28年度学生募集停止、在学生数42人）、環境都市デザイン工学科（平成28年度学生募集停止、在学生数50人） |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
| 教育組織及び教員・教育支援者等 | 【基準2】               | 専攻科目担当                                                                                                                  | 学科等の名称          |        | 専任教員              |           |                         |                         |               |                    | 助手             | 非常勤教員 |       |  |
|                 |                     |                                                                                                                         | 教授              | 准教授    | 講師                | 助教        | 計                       | 基準数                     |               |                    |                |       |       |  |
|                 |                     |                                                                                                                         | ソーシャルデザイン工学科    | 3人     | 9人                | 6人        | 1人                      | 19人                     | —人            | 0人                 | 26人            |       |       |  |
|                 |                     |                                                                                                                         | 計               |        |                   |           |                         | 18                      |               |                    |                |       |       |  |
|                 |                     |                                                                                                                         | ※別地校地を有する学科等の名称 | 学級数    | 教授                | 准教授       | 講師                      | 助教                      | 計             | 複数の校地において教育を行う専任教員 |                | 助手    | 非常勤教員 |  |
|                 | 〇〇学科                | 学級                                                                                                                      | 人               | 人      | 人                 | 人         | 人                       | 両キャンパスで授業を担当する専任教員は教授〇人 |               | 人                  | 人              |       |       |  |
|                 | (〇〇キャンパス)           |                                                                                                                         |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
|                 | (△△キャンパス)           |                                                                                                                         |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
|                 | 【基準2】               | 専攻科目担当                                                                                                                  | 専攻科目担当          | 学科等の名称 |                   | 専任教員      |                         |                         |               |                    |                | 助手    | 非常勤教員 |  |
|                 |                     |                                                                                                                         |                 | 教授     | 准教授               | 講師        | 助教                      | 計                       | 基準数           | うち教授・准教授           |                |       |       |  |
| ソーシャルデザイン工学科    |                     |                                                                                                                         |                 | 21人    | 19人               | 0人        | 9人                      | 49人                     | —人            | —人                 | 0人             | 10人   |       |  |
| 計               |                     |                                                                                                                         |                 |        |                   |           |                         | 29                      | 24            |                    |                |       |       |  |
| ※別地校地を有する学科等の名称 |                     |                                                                                                                         |                 | 学級数    | 教授                | 准教授       | 講師                      | 助教                      | 計             | 複数の校地において教育を行う専任教員 |                | 助手    | 非常勤教員 |  |
| 〇〇学科            | 学級                  | 人                                                                                                                       | 人               | 人      | 人                 | 人         | 両キャンパスで授業を担当する専任教員は教授〇人 |                         | 人             | 人                  |                |       |       |  |
| (〇〇キャンパス)       |                     |                                                                                                                         |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
| (△△キャンパス)       |                     |                                                                                                                         |                 |        |                   |           |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |
| 教員以外の職員等        | 職種                  |                                                                                                                         | 専任              |        | 非常勤               |           | 計                       |                         |               |                    |                |       |       |  |
|                 | 事務職員（うち主に教育支援者）     |                                                                                                                         | 26（25）人         |        | 19（19）人           |           | 45（44）人                 |                         |               |                    |                |       |       |  |
|                 | 技術職員（うち主に教育支援者）     |                                                                                                                         | 11（11）          |        | 0（0）              |           | 11（11）                  |                         |               |                    |                |       |       |  |
|                 | 図書館専門的職員（うち司書資格保有者） |                                                                                                                         | 1（1）            |        | 0（0）              |           | 1（1）                    |                         |               |                    |                |       |       |  |
|                 | その他の職員              |                                                                                                                         | 0               |        | 8                 |           | 8                       |                         |               |                    |                |       |       |  |
| 計               |                     | 38                                                                                                                      |                 | 27     |                   | 65        |                         |                         |               |                    |                |       |       |  |

|                            |       |                               |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
|----------------------------|-------|-------------------------------|------|----------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------|--------|----------------------------------------|----------------------------------|
| 準学士課程の学習・教育の成果等<br>【基準7・8】 | 準学士課程 | 年度                            | 卒業者数 | 就職希望者数                                       | 就職者数                     | 就職率                                                    | 進学希望者数              | 進学者数                     | 進学率    | 主な就職先業種                                | 主な進学先の学部・専攻科等                    |
|                            |       | 26年度                          | 137  | 97                                           | 97                       | 100.0                                                  | 34                  | 34                       | 100.0  | 製造業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、不動産業、物品賃貸業 | 工学部、建設工学専攻、物質工学専攻、理工学部、機械・電気工学専攻 |
|                            |       | 27年度                          | 150  | 112                                          | 112                      | 100.0                                                  | 34                  | 34                       | 100.0  |                                        |                                  |
|                            |       | 28年度                          | 141  | 93                                           | 93                       | 100.0                                                  | 48                  | 48                       | 100.0  |                                        |                                  |
|                            |       | 29年度                          | 151  | 111                                          | 111                      | 100.0                                                  | 39                  | 39                       | 100.0  |                                        |                                  |
|                            |       | 30年度                          | 120  | 82                                           | 82                       | 100.0                                                  | 36                  | 36                       | 100.0  |                                        |                                  |
|                            | 計     | 699                           | 495  | 495                                          | [平均] 100.0               | 191                                                    | 191                 | [平均] 100.0               |        |                                        |                                  |
|                            | 専攻科課程 | 年度                            | 修了者数 | 就職希望者数                                       | 就職者数                     | 就職率                                                    | 進学希望者数              | 進学者数                     | 進学率    | 主な就職先業種                                | 主な進学先の研究科等                       |
|                            |       | 26年度                          | 22   | 12                                           | 12                       | 100.0                                                  | 10                  | 10                       | 100.0  | 公務、建設業、製造業、情報通信業                       | 工学研究科、総合理工学府、先端科学技術研究科           |
|                            |       | 27年度                          | 22   | 14                                           | 14                       | 100.0                                                  | 8                   | 8                        | 100.0  |                                        |                                  |
| 28年度                       |       | 16                            | 8    | 8                                            | 100.0                    | 8                                                      | 8                   | 100.0                    |        |                                        |                                  |
| 29年度                       |       | 19                            | 11   | 11                                           | 100.0                    | 7                                                      | 7                   | 100.0                    |        |                                        |                                  |
| 30年度                       |       | 22                            | 17   | 17                                           | 100.0                    | 5                                                      | 5                   | 100.0                    |        |                                        |                                  |
| 計                          | 101   | 62                            | 62   | [平均] 100.0                                   | 38                       | 38                                                     | [平均] 100.0          |                          |        |                                        |                                  |
| 学生環境及び学習支援等<br>【基準3】       | 校地等   | 区分                            |      | 基準面積                                         | 専用                       | 共用                                                     | 共用する他の学校等の専用        | 計                        | 寄宿舎15棟 |                                        |                                  |
|                            |       | 校舎敷地面積                        |      | —                                            | 51,454 m <sup>2</sup>    | 0 m <sup>2</sup>                                       | 0 m <sup>2</sup>    | 51,454 m <sup>2</sup>    |        |                                        |                                  |
|                            |       | 運動場用地                         |      | —                                            | 38,767                   | 0                                                      | 0                   | 38,767                   |        |                                        |                                  |
|                            |       | 校地面積計                         |      | 8,320 m <sup>2</sup>                         | 90,221                   | 0                                                      | 0                   | 90,221                   |        |                                        |                                  |
|                            |       | その他敷地面積                       |      | —                                            | 18,075 m <sup>2</sup>    | 0 m <sup>2</sup>                                       | 0 m <sup>2</sup>    | 18,075 m <sup>2</sup>    |        |                                        |                                  |
|                            | 校舎面積等 | 区分                            |      | 基準面積                                         | 専用                       | 共用                                                     | 共用する他の学校等の専用        | 計                        |        |                                        |                                  |
|                            |       | 校舎                            |      | — m <sup>2</sup>                             | 16,490.00 m <sup>2</sup> | 0.00 m <sup>2</sup>                                    | 0.00 m <sup>2</sup> | 16,490.00 m <sup>2</sup> |        |                                        |                                  |
|                            |       | 校舎面積計                         |      | 4,793.39                                     | 16,490.00                | 0.00                                                   | 0.00                | 16,490.00                |        |                                        |                                  |
|                            |       | その他の建物                        |      | —                                            | 0.00 m <sup>2</sup>      | 0.00 m <sup>2</sup>                                    | 0.00 m <sup>2</sup> | 0.00 m <sup>2</sup>      |        |                                        |                                  |
|                            |       | 管理施設等教室・研究室等                  |      | 区分                                           | 校長室                      | 教員室                                                    | 会議室                 | 事務室                      | 保健室    | 学生控室                                   |                                  |
|                            | 図書等   | 物部キャンパス                       |      | 1室                                           | 1室                       | 5室                                                     | 8室                  | 1室                       | 4室     |                                        |                                  |
|                            |       | 区分                            |      | 講義室                                          | 演習室                      | 実験・実習室                                                 | 研究室                 | 情報処理学習施設                 | 語学学習施設 |                                        |                                  |
|                            |       | 物部キャンパス                       |      | 26室                                          | 12室                      | 43室                                                    | 75室                 | 5室                       | 0室     |                                        |                                  |
|                            |       | 図書館等の名称                       |      | 面積                                           | 閲覧座席数                    | 開館時間                                                   |                     |                          |        |                                        |                                  |
|                            |       | 図書館                           |      | 1,149 m <sup>2</sup>                         | 121席                     | 平日：午前8時30分～午後7時（休業期間は午後5時まで）<br>土曜日：午前9時～午後1時（休業期間は閉館） |                     |                          |        |                                        |                                  |
|                            | 図書資料等 | 図書館等の名称                       |      | 図書〔うち外国書〕                                    | 学術雑誌〔うち外国書〕              | 電子ジャーナル〔うち外国書〕                                         | 視聴覚資料その他            |                          |        |                                        |                                  |
|                            |       | 図書館                           |      | 101,968〔11,350〕冊                             | 222〔40〕種                 | 5〔5〕種                                                  | 193点                |                          |        |                                        |                                  |
|                            |       | 計                             |      | 101,968〔11,350〕                              | 222〔40〕                  | 5〔5〕                                                   | 193                 |                          |        |                                        |                                  |
|                            |       | 体育館・講堂・寄宿舎・課外活動その他の厚生補導に関する施設 |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
|                            | 附属施設等 | 物部キャンパス                       |      | 体育館・武道場・福利厚生施設・合宿研修センター・寄宿舎1～5号館・女子寮・食堂棟・浴室棟 |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
| △△キャンパス                    |       |                               |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
| 区分                         |       | 附属施設・センター等の名称                 |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
| 基準施設                       |       | 機械工場                          |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
| その他の施設                     |       |                               |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |
| その他の事項                     |       |                               |      |                                              |                          |                                                        |                     |                          |        |                                        |                                  |

出典「高等専門学校現況表」

1. 一般科目担当教員の専門分野と担当授業科目

2019年5月1日現在

| 氏名               | 職名     | 学位         | 校務分担                        | 専門分野                                | 担当授業科目(準学士課程)                | 担当授業科目(専攻科課程) | 実務経験           | 技術資格 | 備考            |
|------------------|--------|------------|-----------------------------|-------------------------------------|------------------------------|---------------|----------------|------|---------------|
| 専<br>任<br>教<br>員 |        |            |                             | ・健康・スポーツ科学/<br>スポーツ科学/<br>スポーツ科学/   | 保健・体育ⅠA、保健・体育Ⅱ、<br>保健・体育Ⅳ    |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(文学)     |                             | ・哲学/哲学・倫理学/                         | 科学技術と倫理、時事・文化、<br>人間と科学技術    | 技術者倫理         | 無              | 無    | 在外研究<br>(ドイツ) |
|                  |        | 修士(文学)     |                             | 国民国家論、世界史、近代ギリシャ史                   | 現代社会、社会科学Ⅰ                   |               | 無              | 無    |               |
|                  |        |            |                             | ・言語学/英語学/                           | 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ、英語表現Ⅲ            |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(比較社会文化) |                             | ・史学/ヨーロッパ史・<br>アメリカ史/               | 地理、社会科学Ⅱ                     |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(学術)     |                             | 経営学<br>教育学<br>英語言語教育法               | 総合英語Ⅱ、テクニカルライティングⅠ           | 英語演習Ⅱ         | 無              | 無    |               |
|                  |        | 修士(文学)     |                             | アメリカ文学<br>批評理論<br>現代思想              | 基礎英語ⅡA、基礎英語ⅡB<br>総合英語Ⅰ       |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 修士(文学)     |                             | ・文学/日本文学/神祕近<br>現代文学/               | 国語Ⅰ、国語Ⅱ、日本語表現                |               | 無              | 無    |               |
|                  |        |            |                             | ・健康・スポーツ科学/<br>スポーツ科学/              | 保健・体育ⅠA、保健・体育Ⅱ、<br>保健・体育Ⅲ    |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(学術)     |                             | 現代アメリカ演劇<br>アジア系アメリカ文学              | 基礎英語ⅠA、基礎英語ⅢA                |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(文学)     |                             | ・文学/日本文学/                           | 国語Ⅰ、国語Ⅱ、日本語表現                |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(理学)     |                             | ・物理学/数理解物理・物<br>性基礎/                | 基礎数学ⅠA、基礎数学ⅠB<br>線形代数A、線形代数B |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(学校教育)   |                             | ・数学/数学一般(含確率論・統計数学)/                | 基礎数学ⅡA、基礎数学ⅠB                |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 理学修士       |                             | ・科学教育・教育工学/科学教育/数学教育                | 基礎数学ⅠA、基礎数学ⅠB<br>線形代数A、線形代数B |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(理学)     |                             | ・数学/幾何学/                            | 基礎数学ⅠA、基礎数学ⅠB、<br>数学活用       |               | 無              | 無    |               |
|                  |        | 博士(工学)     |                             | 生物物理化学<br>分析化学<br>界面化学              | 化学Ⅰ、化学Ⅱ                      |               | 無              | 無    |               |
|                  | 博士(工学) |            | ・量子ビーム科学/量子ビーム科学/<br>イオンビーム | 物理Ⅰ、応用物理、応用物理Ⅱ、<br>物理実験、創造工学実験、卒業研究 |                              | 無             | 無              |      |               |
|                  | 博士(理学) |            | 幾何学<br>数理解モデル               | 微分積分ⅠA、微分積分ⅠB                       |                              | 無             | 無              |      |               |
|                  | 博士(理学) |            | ・数学/幾何学/微分幾何学               | 数学特論、線形代数B、微分積分Ⅱ、<br>数学演習B          |                              | 無             | 実用数学<br>技能検定Ⅰ級 |      |               |

|        |          |     |                                  |                              |             |            |               |
|--------|----------|-----|----------------------------------|------------------------------|-------------|------------|---------------|
| 非常勤教員  | 学術修士     |     | ドイツ語比較文学                         | ドイツ語                         |             |            |               |
|        | 文学士      |     | 英語(国際コミュニケーション)、日本語教育            |                              |             |            | 日本語、日本事情(留学生) |
|        | 文学修士     |     | 中国古典文学(唐代文学)                     | 国語Ⅲ                          |             |            |               |
|        |          |     | 保健体育                             | 保健・体育Ⅲ、保険・体育Ⅳ                |             |            |               |
|        | 修士(英語教育) |     | 歴史英語教育                           | 英語表現Ⅱ、英語表現Ⅲ、デザイン工学演習Ⅰ        |             |            |               |
|        |          |     | 国際交流                             |                              |             |            | 日本語(留学生)      |
|        | 体育学士     |     | 保健体育                             | 保健・体育ⅠA、保健・体育Ⅱ、保健・体育Ⅲ、保険・体育Ⅳ |             |            |               |
|        | 文学修士     |     | 環境地理学                            | 経済学                          | 地域産業経済論     |            |               |
|        | 文学士      |     | 英語言語学英語教育                        | 基礎英語ⅠA、基礎英語ⅠB                | 英語演習Ⅰ       |            |               |
|        | 修士(教育学)  |     | 絵画(西洋画)                          | 美術                           |             |            |               |
|        | 修士(法学)   |     | 商法(保険法・海商法)                      | 法学                           |             |            |               |
|        | 学士(芸術)   |     | 音楽                               | 音楽                           |             |            |               |
|        | 学士       |     | 保健体育                             | 保健・体育ⅠB                      |             |            |               |
|        | M.A.     |     | 聖書研究英語教育                         | 基礎英語ⅢA                       |             |            |               |
|        |          |     | 税務会計不動産                          | キャリアと生活デザイン(オムニバス)           |             |            |               |
|        | 工学博士     |     | 物性基礎論物理教育                        | 物理Ⅱ<br>応用物理Ⅰ<br>物理実験         |             |            |               |
|        | 博士(理学)   |     | 代数的位相幾何学                         | 数学活用                         | 解析学、代数学・幾何学 |            | 数学演習(留学生)     |
|        | 学士(文学)   |     | 学習塾にて、中学・高校・浪人生に対して化学・生物等を20年間指導 | 生物                           |             |            |               |
|        | 社会学士     |     | 経営・産業                            | 地域学(オムニバス)                   |             |            |               |
|        |          |     | 地域コミュニティ・集落再生観光・交流               | 地域学(オムニバス)                   |             |            |               |
|        | 経済学士     |     | 税務会計金融                           | キャリアと生活デザイン(オムニバス)           |             |            |               |
|        | 法学士      |     | 金融資産運用設計                         | キャリアと生活デザイン(オムニバス)           |             |            |               |
|        | 商学士      |     | 不動産簿記・会計金融                       | キャリアと生活デザイン(オムニバス)           |             |            |               |
|        | 学士(商学)   |     | 損害保険生命保険金融                       | キャリアと生活デザイン(オムニバス)           |             |            |               |
|        |          |     | 宗教教育学英語教育                        | 基礎英語ⅡA                       |             |            |               |
| 博士(学術) |          | 言語学 |                                  |                              |             | レポート作成セミナー |               |

2-1. 専門科目担当教員の専門分野と担当授業科目 (ソーシャルデザイン工学科)

2019年5月1日現在

| 氏名 | 職名 | 学位     | 校務分担 | 専門分野                                                                                                        | 担当授業科目 (準学士課程)                                                       | 担当授業科目 (専攻科課程)                 | 実務経験 | 技術資格                      | 備考            |
|----|----|--------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------|---------------------------|---------------|
|    |    | 博士(工学) |      | 物性工学(超伝導体-半導体接合、超伝導体-強磁性体接合)                                                                                | 電磁気学Ⅰ・電磁気学、電磁気学Ⅱ、機能性材料、電気・電子材料、エネルギー・環境セミナー、創造工学実験、卒業研究、校外実習         | 物性工学、技術者倫理、工学基礎演習              | 有    | 有機溶剤作業主任者<br>特定化学物質等作業主任者 | 民間企業勤務経験(26年) |
|    |    | 博士(工学) |      | ・機械工学/<br>機械材料・<br>材料力学/<br>機械工学/<br>流体工学/<br>・機械工学/<br>設計工学・<br>機械機能要素・トライボロジー/                            | ソーシャルデザイン基礎、機械デザインⅠ、製図・CAD、機械デザインⅡ、ロボティクスセミナー、地域協働演習、工学実験Ⅱ、卒業研究      | 特別実験                           | 無    | 無                         |               |
|    |    | 博士(工学) |      | ・電気電子工学/制御工学/<br>・機械工学/<br>機械力学・<br>制御/<br>・計算科学/<br>計算科学/                                                  | 制御工学、デザイン工学演習Ⅰ、プログラミング、線形回路、エネルギー・環境セミナー、工学実験Ⅱ、ロボット工学実験Ⅰ、創造工学実験、卒業研究 | デジタル制御、特別実験                    | 有    | 無                         | 民間企業勤務経験(5年)  |
|    |    | 博士(工学) |      | ・土木工学/<br>地盤工学/                                                                                             | 地盤工学Ⅰ、地盤工学Ⅱ、防災工学、まちづくり・防災創造演習、地域協働演習、卒業研究                            | 防災工学特論、地盤工学特論、基礎工学特論、特別実験、特別研究 | 有    | 技術士                       | 民間企業勤務経験(2年)  |
|    |    | 博士(工学) |      | ・環境学/持続可能システム/再生可能エネルギー<br>・情報学/知能情報学/自律エージェント<br>・情報学/学習支援システム/問題解決型学習                                     | 情報通信工学、アセンブリⅠ・Ⅱ、ソフトウェア工学、創造工学実験、ネットワーク工学演習、情報工学実験Ⅰ、卒業研究              | 特別実験                           | 有    | 無                         | 民間企業勤務経験(3年)  |
|    |    | 博士(工学) |      | ・物理学/物性Ⅰ/<br>・応用物理学・工学基礎/応用物性・結晶工学/<br>・応用物理学・工学基礎/薄膜・表面界面物性/<br>・電気電子工学/電子・電気材料工学/<br>・電気電子工学/電子デバイス・電子機器/ | 電気回路Ⅰ、ロボティクスセミナー、工学実験Ⅰ・Ⅱ、電気・電子工学、創造工学実験、ロボット工学実験Ⅰ、工学実験Ⅱ、卒業研究         | センサ工学、特別実験                     | 無    | 無                         |               |
|    |    | 博士(工学) |      | ・機械工学/<br>機械材料・<br>材料力学/                                                                                    | 材料力学Ⅰ、数値計算法、材料力学Ⅱ、ロボティクスセミナー、計算機演習、設計工学、工学実験Ⅱ、卒業研究                   | 強度設計学、特別実験                     | 無    | 無                         |               |
|    |    | 博士(工学) |      | ・物理学/物性Ⅰ/<br>・応用物理学・工学基礎/薄膜・表面界面物性/<br>・電気電子工学/電子・電気材料工学/                                                   | プログラミング、デザイン工学演習Ⅱ、電子回路、電気電子工学、エネルギー・環境セミナー、創造工学実験、卒業研究               | 材料科学、特別実験                      | 無    | 無                         |               |
|    |    | 博士(工学) |      | ・機械工学/<br>設計工学・<br>機械機能要素・トライボロジー/<br>・機械工学/<br>流体工学/<br>・機械工学/<br>熱工学/                                     | 熱力学Ⅰ、熱力学Ⅱ、熱・流体工学、力学基礎、ロボット工学実験Ⅰ、エネルギー・環境論、機械工学、工学実験Ⅱ、卒業研究            | 工学基礎演習、特別実験、特別研究               | 有    | 無                         | 民間企業勤務経験(1年)  |
|    |    | 博士(理学) |      | ・物理学/数理物理・物性基礎/<br>・数学/数学基礎・応用数学/                                                                           | デザイン工学演習Ⅰ・Ⅱ、確率・統計解析、離散数学、論理学Ⅰ、情報セキュリティセミナー、情報工学実験Ⅱ、創造工学実験、卒業研究       | 応用情報処理、現代物理学B                  | 無    | 無                         | 在外研究(7月)      |
|    |    | 工学博士   |      | ・基礎化学/<br>物理化学/                                                                                             | 情報処理、工業統計学・演習、機器分析、科学コミュニケーション、デザイン工学演習Ⅰ、創造実験、材料・生物工学実験、卒業研究         | 化学結合論                          | 無    | 無                         |               |

|        |                         |                                                                                           |                                                                                     |                          |   |            |                           |
|--------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|---|------------|---------------------------|
| 専任     | 博士(理学)                  | ・応用物理学/プラズマエレクトロニクス/<br>・環境学/環境動態解析/<br>・地球惑星科学/気象・海洋物理・陸水学/                              | 物理Ⅰ、物理実験、応用物理Ⅱ、工学実験Ⅱ、卒業研究                                                           | 特別実験、現代物理学A              | 有 | 無          | 民間企業勤務経験(5年)<br>在外研究(7ヶ月) |
|        | 博士(工学)                  | ・複合化学/機能物質化学/<br>・プロセス工学/触媒・資源化学プロセス/                                                     | 物理化学Ⅰ、化学Ⅱ、物理化学・化学工学実験、創造実験、材料・生物工学実験、卒業研究                                           | 触媒化学、特別実験、特別研究           | 無 | 無          |                           |
|        | 博士(工学)                  | ・プロセス工学/反応工学/プロセスシステム/<br>・プロセス工学/生物機能・バイオプロセス/                                           | 化学工学Ⅱ・演習、酵素工学、物理化学・化学工学実験、デザイン工学演習Ⅱ、創造実験、材料・生物工学実験、卒業研究                             | 分離操作工学、生物化学工学、技術者倫理、特別研究 | 有 | 無          | 民間企業勤務経験(2年)<br>在外研究(ドイツ) |
|        | 博士(学術)                  | ・基礎化学/無機化学/<br>・材料工学/無機材料・物性/                                                             | 材料学基礎、無機化学Ⅱ、無機材料学、分析化学、無機・分析化学実験、創造実験、材料・生物工学実験、卒業研究、校外実習                           | 材料科学、固体化学、特別実験           | 無 | 無          |                           |
|        | 博士(工学)                  | ・人間工學/医用生体工学・生体材料学/<br>・応用物理学・工学基礎/応用光学・量子光学/<br>・機械工学/知能機械学・機械システム/<br>・電気電子工学/計測工学/     | 情報処理、ロボット工学概論、機械力学Ⅱ・演習、計測工学、ロボティクスセミナー、ロボット工学実験Ⅰ、工学実験Ⅱ、科学技術英語、卒業研究                  | ロボット工学、特別実験、特別研究         | 無 | 第二種情報処理技術者 |                           |
|        | 博士(工学)                  | ・複合化学/機能物質化学/<br>・材料工学/無機材料・物性/<br>・材料工学/構造・機能材料/                                         | 化学計算演習、デザイン工学演習Ⅰ、機能性材料、機器分析・生命科学実験、分析化学Ⅲ、無機材料、創造実験、材料・生物工学実験、卒業研究                   | 材料科学、セラミックス化学            | 有 | 無          | 民間企業勤務経験(3年)<br>在外研究(7ヶ月) |
|        | 博士(工学)                  | ・情報学/ヒューマンインターフェース/インタラクション/<br>・情報学/学習支援システム/<br>・科学教育・教育工学/学習環境<br>・電気電子工学/通信・ネットワーク工学/ | 電気基礎、符号理論、データベースシステム、通信工学、デザイン工学演習Ⅰ、エネルギー・環境セミナー、工学実験Ⅱ、ロボット工学実験Ⅰ、地域協働演習、創造工学実験、卒業研究 | データベースシステム、特別実験、特別研究     | 有 | 無          | 民間企業勤務経験(4年)              |
|        | 博士(工学)                  | ・土木工学/土木環境システム/                                                                           | 水環境工学Ⅰ、水環境工学Ⅱ、まちづくり・防災創造演習、土木・建築実験Ⅳ、卒業研究                                            | 水環境工学特論、環境工学特論、特別実験、特別研究 | 有 | 無          | 民間企業勤務経験(6年)              |
|        | 博士(工学)                  | ・情報学/図書館情報学・人文社会情報学/<br>・社会・安全システム科学/社会システム工学・安全システム/<br>・土木工学/土木計画学・交通工学/                | 測量学、施工管理学、デザイン工学演習Ⅰ・Ⅱ、土木・建築実験Ⅰおよび測量実習、まちづくり・防災創造演習、卒業研究                             |                          | 無 | 無          |                           |
| 博士(工学) | ・土木工学/土木材料・施工・建設マネジメント/ | 建設材料学Ⅰ、コンクリート構造学Ⅱ、土木・建築実験Ⅳ、土木・建築実験Ⅰおよび測量実習、まちづくり・防災創造演習、卒業研究                              | 材料科学、建設材料学特論、特別実験、特別研究                                                              | 無                        | 無 |            |                           |

教  
員

|          |                                                                                                                                                          |                                                                                   |                                          |   |                                                                              |               |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 博士(工学)   | ・建築学/建築構造・材料/地震工学・建築構造                                                                                                                                   | 構造力学Ⅰ、プログラミングⅠ・Ⅱ、自然・都市災害論、まちづくり・防災創造演習、土木・建築実験Ⅳ、建築一般構造、デザイン工学演習Ⅱ、卒業研究             | 建設工学演習、特別研究                              | 有 | 1級建築士免許                                                                      | 民間企業勤務経験(7年)  |
| 博士(工学)   | ・情報学/知覚情報処理/画像情報処理<br>・情報学/ヒューマンインターフェース・インタラクション/<br>バーチャリティ<br>・情報学/ヒューマンインターフェース・インタラクション/拡張現実<br>・情報学/ヒューマンインターフェース・インタラクション/複合現実感<br>・情報学/学習支援システム/ | デザイン工学演習Ⅰ・Ⅱ、論理回路、情報セキュリティと法制度、プログラミング基礎、情報工学実験Ⅱ、情報セキュリティセミナー、卒業研究、校外実習            | 応用情報処理                                   | 無 | 無                                                                            |               |
| 博士(工学)   | ・土木工学/水工学/                                                                                                                                               | ソーシャルデザイン基礎、水理学Ⅰ、水理学Ⅱ、防災工学Ⅰ、まちづくり・防災概論、自然・都市災害論、まちづくり・防災創造演習、土木・建築実験Ⅳ、環境水資源学、卒業研究 | 応用水理学、防災工学特論、環境工学特論、建設工学演習、特別研究          | 無 | 無                                                                            |               |
| 博士(工学)   | ・材料工学/構造・機能材料/                                                                                                                                           | 機能性材料、機械材料、金属材料学、デザイン工学演習Ⅱ、ロボティクスセミナー、ロボット工学実験Ⅰ、工学実験Ⅱ、卒業研究、校外実習                   | 材料科学                                     | 無 | 無                                                                            | 在外研究(イギリス)    |
| 博士(工学)   | ・建築学/建築環境・設備/                                                                                                                                            | ソーシャルデザイン基礎、建築設備、土木・建築実験Ⅰおよび測量実習、まちづくり・防災創造演習、科学技術英語、環境工学、土木・建築実験Ⅳ、プログラミングⅠ、卒業研究  | 特別実験、特別研究                                | 有 | 無                                                                            | 民間企業勤務経験(1年)  |
| 博士(工学)   | ・機械工学/設計工学・機械機能要素・トライブロジ-/<br>・機械工学/流体工学/                                                                                                                | ソーシャルデザイン入門、製図・CAD、地域協働演習、生産工学、設計製図、工学実験Ⅱ、卒業研究                                    | 生産工学特論、技術者倫理                             | 有 | 無                                                                            | 民間企業勤務経験(14年) |
| 博士(工学)   | コンクリート工学<br>維持管理工学                                                                                                                                       | 構造力学Ⅱ、防災工学Ⅱ、橋梁工学、建設社会学、まちづくり・防災創造演習、土木・建築実験Ⅰおよび測量実習、地域協働演習、卒業研究、校外実習              | 建設工学演習、技術者倫理、構造解析特論、防災工学特論、建設材料科学特論、特別研究 | 有 | 1級土木施工管理技士<br>技術士(建設部門)<br>コンクリート主任技士<br>コンクリート診断士<br>上級土木技術者<br>コンクリート構造診断士 | 民間企業勤務経験(14年) |
| 博士(理学)   | ・地球惑星科学/超高層物理学/<br>・科学教育・教育学/科学教育/                                                                                                                       | 物理Ⅰ、物理実験、物理Ⅲ、創造工学実験、卒業研究                                                          | 特別実験                                     | 無 | 無                                                                            |               |
| 博士(理学)   | ・物理学/素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理/<br>・物理学/数理論理・物性基礎/                                                                                                                | デザイン工学演習Ⅰ・Ⅱ、プログラミング基礎、総合理科、情報代数、暗号理論、情報工学実験Ⅰ・Ⅱ、情報セキュリティセミナー、卒業研究                  | 応用情報処理                                   | 無 | 第二種情報処理技術者<br>情報セキュリティアドミニストレータ                                              |               |
| 博士(工学)   | ・機械工学/流体工学/<br>・プロセス・化学工学/化工物性・移動操作・単位操作/                                                                                                                | 流れ学Ⅰ、流れ学Ⅱ、デザイン工学演習Ⅰ、工学実験Ⅱ、ロボティクスセミナー、ロボット工学実験Ⅰ、科学技術英語、設計製図、卒業研究                   | 流体力学、特別実験、特別研究                           | 無 | 無                                                                            | 在外研究(カナダ)     |
| 博士(工学)   | プラズマ科学<br>核融合                                                                                                                                            | デジタル信号処理、電子回路、工学実験Ⅰ、デザイン工学演習Ⅱ、創造工学実験、卒業研究                                         | 電気電子回路工学                                 | 無 | 無                                                                            |               |
| 博士(工学)   | ・機械工学/流体工学/<br>・機械力学・制御/<br>・総合工学/航空宇宙工学/<br>微生物生態学                                                                                                      | 応用数学、工業数学、数学演習A、工学実験Ⅱ、卒業研究                                                        | ソリューション工学                                | 有 | 無                                                                            | 民間企業勤務経験(5年)  |
| 博士(環境科学) | 環境微生物学                                                                                                                                                   | 微生物学、環境工学、卒業研究                                                                    | 生命科学、特別実験                                | 無 | 無                                                                            |               |

|               |                                                                                            |                                                                                                                                 |                      |   |                                                                  |                       |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|---|------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 博士(工学)        | ・機械工学/<br>知能機械<br>学・機械シ<br>ステム/<br>・農業工学/<br>農業環境・<br>情報工学/<br>・機械工学/<br>機械力学・<br>制御/      | 制御工学・演習、制御工学Ⅰ、<br>デザイン工学演習Ⅰ・Ⅱ、工作<br>実習、ロボット工学実験Ⅰ、工<br>学実験Ⅱ、卒業研究                                                                 |                      | 有 | 無                                                                | 民間企業<br>勤務経験<br>(2年)  |
| 博士(工学)        | 非線形力学                                                                                      | プログラミング基礎、プログラ<br>ミングⅠ・Ⅱ、工学実験Ⅱ、情<br>報工学実験Ⅰ、ロボット工学実<br>験Ⅰ、情報工学、創造工学実<br>験、卒業研究                                                   | 特別実験、特別研究            | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(工学)        | ・複合化学/<br>分析化学/<br>・複合化学/<br>機能物質化<br>学/<br>・生物科学/<br>生物物理学/                               | 生化学、機器分析・生命科学実<br>験、デザイン工学演習Ⅱ、分子<br>生物学、創造実験、材料・生物<br>工学実験、卒業研究                                                                 | 生化学特論、特別実験、特別研<br>究  | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(工学)        | ・基礎化学/<br>物理化学/<br>・複合化学/<br>合成化学/                                                         | 無機化学Ⅰ、材料学基礎、物理<br>化学Ⅱ、無機・分析化学実験、<br>物理化学・化学工学実験、創造<br>実験、材料・生物工学実験、卒<br>業研究                                                     | 材料科学                 | 有 | 甲種危険<br>物取扱者<br>免許<br>第一種衛<br>生管理者<br>免許                         | 民間企業<br>勤務経験<br>(12年) |
|               | ・建築学/建<br>築史・意匠/                                                                           | デザイン工学演習Ⅰ、土木・建<br>築設計製図Ⅱ、建築計画Ⅱ、建<br>築施工及び建築法規、まちづく<br>り・防災創造演習、地域協働演<br>習、建築設計製図、卒業研究                                           | 建築設計演習、特別実験          | 有 | 1級建築<br>士免許<br>CAD利用<br>技術者試<br>験(1級)<br>イテリ<br>コー<br>ディネー<br>ター | 民間企業<br>勤務経験<br>(34年) |
| 博士(工学)        | ・電気電子工<br>学/電力工<br>学・電力変<br>換・電気機器<br>/                                                    | 電気基礎、電気回路Ⅱ、エネル<br>ギーシステム工学、デザイン工<br>学演習Ⅰ、エネルギー・環境セ<br>ミナー、工学実験Ⅰ、創造工学<br>実験、卒業研究                                                 | 特別実験、特別研究            | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(工学)        | ・電気電子工<br>学/通信・初<br>級ネットワーク<br>学/<br>・情報学/情<br>報ネットワーク<br>/                                | プログラミング基礎、デザイン<br>工学演習Ⅰ・Ⅱ、コンピュータ<br>ネットワークⅠ、コンピュータ<br>ネットワークⅡ、アルゴリズム<br>とデータ構造、グラフとオート<br>マトン、情報工学実験Ⅱ、情報<br>セキュリティセミナー、卒業研<br>究 | 応用情報処理、特別実験、特別<br>研究 | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(工学)        | ・基礎化学/<br>有機化学/                                                                            | 情報処理、デザイン工学演習<br>Ⅱ、機能性材料、有機化学Ⅱ、<br>有機化学実験、有機材料学、創<br>造実験、材料・生物工学実験、<br>卒業研究                                                     | 材料科学                 | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(生活環境<br>学) | ・建築学/都<br>市計画・建<br>築計画/                                                                    | ソーシャルデザイン基礎、都市計画、建<br>築設計製図、建築史、まちづく<br>り・防災概論、まちづくり・防<br>災創造演習、土木・建築設計製<br>図Ⅰ、地域協働演習、卒業研究                                      | 地域計画学                | 有 | 2級建築<br>士免許                                                      | 民間企業<br>勤務経験<br>(6年)  |
| 博士(工学)        | ・複合化学/<br>合成化学/<br>・基礎化学/<br>有機化学/                                                         | 有機化学Ⅰ、有機材料、有機化<br>学実験、有機化学Ⅲ、機器分<br>析・生命科学実験、創造実験、<br>材料・生物工学実験、卒業研究                                                             | 高分子材料化学              | 有 | 無                                                                | 民間企業<br>勤務経験<br>(1年)  |
| 博士(工学)        | ・電気電子工<br>学/電力工<br>学・電力変<br>換・電気機器<br>/                                                    | パワーエレクトロニクス、デザ<br>イン工学演習Ⅱ、デジタル信<br>号処理、エネルギー・環境セ<br>ミナー、工学実験Ⅰ、創造工学実<br>験、卒業研究                                                   | パワーエレクトロニクス特論        | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(工学)        | ロボティク<br>ス、福祉工<br>学、融合脳<br>計測科学                                                            | デザイン工学演習Ⅱ、ロボット<br>工学、ロボット工学概論、メカ<br>トロニクス、ロボティクスセ<br>ミナー、工学実験Ⅱ、卒業研究                                                             | 特別実験、特別研究            | 無 | 無                                                                |                       |
|               | ・電気電子工<br>学/電子デバ<br>イス・電子<br>機器/<br>・キャリア教<br>育                                            | ソーシャルデザイン入門、ソー<br>シャルデザイン基礎                                                                                                     |                      | 有 | 実用英語<br>技能検定<br>2級                                               | 民間企業<br>勤務経験<br>(31年) |
| 修士(工学)        | ・情報学/認<br>知科学/意思<br>決定支援<br>・情報学/ヒ<br>ューマン<br>インタク<br>ション/<br>・インタク<br>ション/<br>ユー<br>ザビリティ | データ解析                                                                                                                           |                      | 無 | 無                                                                |                       |
| 博士(情報理工<br>学) | 情報工学<br>計算機工学                                                                              | コンピュータアーキテクチャ                                                                                                                   |                      | 無 | 無                                                                |                       |

|       |         |                                                        |                                      |                     |  |  |  |
|-------|---------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------|--|--|--|
| 非常勤教員 | 工学修士    | ・プロセス工学/生物機能・バイオマス/<br>・総合工学/リサイクル工学/<br>・農芸化学/応用生物化学/ | 細胞工学、反応工学、化学工学 I、物理化学・化学工学実験         | 反応工学特論、特別実験、特別研究    |  |  |  |
|       | 博士(情報学) | ・地球惑星科学/超高層物理学/<br>・電気電子工学/通信・ネットワーク工学/                | 電磁波工学、エレクトロニクス実装工学、創理工学実験、科学技術英語     | 画像処理論、特別実験、特別研究     |  |  |  |
|       |         | 設計製図                                                   | 土木・建築設計製図Ⅳ、交通工学                      |                     |  |  |  |
|       | 工学博士    | 有機化学<br>有機合成化学                                         | 安全工学                                 | 一般化学、天然物有機化学、有機合成化学 |  |  |  |
|       | 博士(工学)  | パワーエレクトロニクス                                            | 電気機器                                 |                     |  |  |  |
|       | 博士(工学)  | 海岸工学<br>津波防災工学<br>非破壊検査工学                              | 土木・建築設計製図Ⅰ、海岸水理学、土木・建築設計製図Ⅳ、土木・建築実験Ⅳ | 海岸工学、建設工学演習         |  |  |  |
|       | 理学博士    | 材料化学<br>環境化学                                           | 環境化学                                 | 分析化学特論              |  |  |  |
|       | 博士(工学)  | 建築構造力学<br>建築構造設計                                       | 防災工学、土木・建築実験Ⅳ、建築構造計画、構造力学Ⅳ、力学基礎      | 地震工学                |  |  |  |
|       | 博士(工学)  | エネルギー工学<br>熱流体工学                                       | エネルギー資源、エネルギー工学、工学実験Ⅱ                | エネルギー変換工学、伝熱工学      |  |  |  |
|       | 都市計画    | 都市計画                                                   |                                      |                     |  |  |  |

出典「担当教員一覧表」

## 「高知工業高等専門学校教員人事委員会規則」

## 高知工業高等専門学校教員人事委員会規則

制 定 平成21年10月15日

一部改正 平成31年 2月21日

(趣旨)

**第1条** 高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、高知工業高等専門学校内部組織規則第16条の規定に基づき、高知工業高等専門学校教員人事委員会（以下、「人事委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

**第2条** 人事委員会は、現在及び将来の定員充足状況を把握し、本校の将来計画を踏まえ教員の人事計画、再配置及び定員の運用調整等を審議し、教員の定員管理の円滑化を図ることを目的とする。

(定義)

**第3条** この規則において、「教員」とは、独立行政法人国立高等専門学校機構教職員就業規則第3条第2号に掲げる者をいう。

(審議事項)

**第4条** 人事委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 教員の定員管理及び再配置に関すること。
- 二 教員の定員の運用調整に関すること。
- 三 教員の採用等（内部昇任を含む。）に関すること。
- 四 教員の人事計画に関すること。
- 五 その他教員の人事に関すること。

(組織)

**第5条** 人事委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 校長
  - (2) 教務主事
  - (3) 専攻科長
  - (4) ソーシャルデザイン工学科長（以下「学科長」という。）
  - (5) 基礎教育長、副基礎教育長及び各コース長
  - (6) 事務部長
  - (7) その他校長が必要と認めた者
- 2 人事委員会に委員長を置き（以下「人事委員長」という。）、校長をもって充てる。
  - 3 人事委員長は、人事委員会を招集し、その議長となる。
  - 4 人事委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、人事委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の出席)

**第6条** 人事委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(採用等)

**第7条** 教員の採用は、原則として公募により行う。ただし、人事委員会が必要と認めたと

きは、昇任の方法により本校の教員をもって採用を行うべき職に充てることができる。

- 2 前項ただし書の昇任等を行う場合には、学科長は、あらかじめ人事委員長に申し出るものとする。

(選考の申出)

**第8条** 学科長は、教員の選考の必要が生じたときは、別紙様式により、速やかに人事委員長に申し出るものとする。ただし、定年による退職の場合は、当該退職年度の5月末日までに申し出るものとする。

(教員選考委員会の設置)

**第9条** 人事委員長は、前条の申出があった場合及び教員を昇任させる場合には、人事委員会の下に教員選考委員会を設置するものとする。

- 2 教員選考委員会は、人事委員会の付託を受けて、教員の採用及び昇任に係る書類選考その他教員の人事に関し、審査する。

- 3 教員選考委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(学科間定員貸借)

**第10条** 削除

(選考の基準)

**第11条** 教員の選考の基準は、高知工業高等専門学校教員選考基準により行うものとする。

(運営会議への報告)

**第12条** 人事委員会における審議の結果については、速やかに運営会議に報告を行うものとする。

(事務)

**第13条** 人事委員会の事務は、総務課において処理する。

(雑則)

**第14条** この規則に定めるもののほか、人事委員会の運営について必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この規則は、平成21年10月15日から施行する。

#### 附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規則は、平成28年4月21日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

#### 附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

別紙様式

平成 年 月 日

高知工業高等専門学校  
教員人事委員会委員長 殿

(申出者)

ソーシャルデザイン工学科長

氏名 \_\_\_\_\_ 印

教 員 選 考 申 出 書

高知工業高等専門学校教員人事委員会規則第8条に基づき、下記のとおり申し出ますので、  
選考方よろしくお願いします。

記

1. 選考希望の職名
2. 専門分野・担当科目
3. 選考を必要とする理由
4. 発令希望年月日                      平成 年 月 日
5. その他

出典「高知高専HP

: [https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/103070\\_kisoku-310221.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/103070_kisoku-310221.pdf)」

## 「高知工業高等専門学校教員選考基準」

## 高知工業高等専門学校教員選考基準

制 定 平成21年10月15日

(趣旨)

**第1条** 高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）の教員の選考は、高等専門学校設置基準（昭和36年8月30日文部省令第23号）に定めるもののほか、この基準の定めるところによる。

(定義)

**第2条** この規則において「教員」とは、独立行政法人国立高等専門学校機構教職員就業規則第3条第2号に掲げる者をいう。

**(教授の資格)**

**第3条** 教授となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、本校における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者
- (2) 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、当該専門職学位の専攻分野に関する業務についての実績を有する者
- (3) 大学（短期大学を含む）又は高等専門学校において、教授、准教授又は専任の講師の経歴のある者
- (4) 学校、研究所、試験所、調査所等に在職し、教育若しくは研究に関する実績を有する者又は工場その他の事業所に在職し、技術に関する業務についての実績を有する者
- (5) 特定の分野について、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

(准教授の資格)

**第4条** 准教授となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、本校における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 前条各号のいずれかに該当する者
- (2) 大学又は高等専門学校において助教又はこれに準ずる職員としての経歴（外国におけるこれらに相当する職員としての経歴を含む。）のある者
- (3) 修士の学位又は学位規則第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (4) 特定の分野について、優れた知識及び経験を有すると認められる者

(講師の資格)

**第5条** 講師となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第3条又は前条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において教諭の経歴のある者
- (3) 特定の分野について、本校における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者

(助教の資格)

**第6条** 助教となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、本校における

教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 第3条又は第4条に規定する教授又は准教授となることのできる者
- (2) 修士の学位又は学位規則第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者
- (3) 特定の分野について、知識及び経験を有すると認められた者  
（助手の資格）

**第7条** 助手となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学士の学位若しくは短期大学士の学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）又は準学士の称号（外国におけるこれに相当する称号を含む。）を有する者
- (2) 前号の者に準ずる能力を有すると認められる者  
（事務）

**第8条** 教員の選考に関する事務は、総務課において処理する。

（雑則）

**第9条** この基準に定めるもののほか、教員の選考に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この基準は、平成21年10月15日から施行する。

出典「高知工業高等専門学校教員選考基準」



関 係 大 学 長 殿  
国公立高等専門学校長 殿

高知工業高等専門学校長  
[ ]  
(公印省略)

教 員 の 公 募 に つ い て ( 依 頼 )

～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

記

1. 募集人員 教授、准教授または助教 1名
2. 所属学科 ソーシャルデザイン工学科
3. 専門分野 [ ]に関連する分野
4. 担当科目 [ ] 他
5. 応募資格 (1) **博士の学位を有する方**  
(2) 教育及び学生指導(クラブ指導、寮生指導等)に熱意を持ち、研究意欲のある健康な方  
(3) 地域企業との連携事業に意欲のある方  
(4) **企業等での実務経験がある方が望ましい。**

～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

8. 選考方法 第一次選考 書類審査  
第二次選考 面接及び模擬授業(書類審査合格者に実施日時等を直接連絡します。なお、第二次選考に係る旅費・宿泊費等は個人負担となります。)
9. 提出書類 (1) 履歴書(本校所定用紙に本人自筆、写真貼付) (様式1)  
(2) 研究業績リスト(著書、論文、口頭発表等) (様式2)  
(3) 主要論文等の別刷5編以内(コピー可)  
(4) 高等専門学校での教育並びに研究に対する抱負(2000字以内、様式3)  
※様式1～3については、本校ホームページ教職員募集のお知らせ  
(<http://www.kochi-ct.ac.jp/kobo/top>) から取得してください。

～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

12. その他
  - ・本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に基づき、業績等が同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。
  - ・職名は、年齢、業績等を考慮して決定します。
  - ・応募書類は返却いたしません。応募者の個人情報は、本教員選考のために使用するものであり、その他の目的に使用することはありません。

出典「教員の公募の依頼文書」

「教員の年齢構成、学位取得実績、男女比がわかる資料」

National Institute of Technology, Kochi College

● 役職員等 Administrative Officials (as of May 1, 2018)

(平成30年5月1日現在)

参与

- 国立大学法人豊橋技術科学大学大学院工学研究科  
Graduate School of Engineering, Toyohashi University of Technology
- 電気・電子情報工学系教授  
Professor, Dept. of Electrical and Electronic Information Engineering
- 高知県中学校校長会会長 (伊野南中学校長)  
Chair of the Kochi Prefecture Senior High School Principals Association
- 高知県教育委員会教育次長  
Vice Superintendent, Kochi Prefectural Board of Education
- 高知工業高等専門学校校友会会長  
President, NII Kochi College College Alumni Association
- 荒川電工株式会社代表取締役社長  
President and Representative Director, Arakawa Denko K.K.
- 高知工科大学システム工学群学群長  
Head of School of Systems Engineering, Kochi University of Technology
- 南国市長  
Mayor of Nanooka City
- 四国電力株式会社常務取締役  
Managing Director, Shikoku Electric Power Co., Inc.
- 高知新聞社編集委員室副委員長  
Vice-Chairman of Editorial Committee, The Kochi Shinbun
- 株式会社高知銀行専務取締役  
Senior Managing Director, The Bank of Kochi, Ltd.

基礎教育長・コース長・学科長・専攻主任

- 基礎教育長  
Head of Fundamental Education
- 副基礎教育長  
Deputy Head of Fundamental Education
- エネルギー・環境コース長 / 電気情報工学  
Head of Energy and Environment Course, Head of Department of Electrical Engineering and Information Science
- 機械・電気工学専攻副主任  
Deputy Head of Advanced Course in Mechanical and Electrical Engineering
- ロボティクスコース長  
Head of Robotics Course
- 機械工学科長 / 機械・電気工学専攻主任  
Engineering Head or Advanced Course in Mechanical and Electrical Engineering
- 情報セキュリティコース長  
Head of Information Security Course
- まちづくり・防災コース長 / 環境都市デザイン工学科長 /  
Head of Urban Engineering, Architecture and Disaster Prevention Course, Head of Department of Environmental Design Engineering
- 建設工学専攻主任  
Head of Advanced Course in Construction
- 新素材・生命コース長 / 物質工学科長 / 物質工学専攻主任  
Head of Material Science Course, Head of Department of Material Science Engineering and Applied Chemistry, Head of Department of Applied Chemistry

校長・主事・校長補佐

- President, Deans, and Assistants to the President
- 校長  
President
- 教務主事 (副校長)  
Dean of Academic Affairs (Vice-president)
- 専攻科長・研究担当 (副校長)  
Dean of Department of Social Design Engineering (Vice-president)
- 特命担当 (副校長)  
Head of the Special Mission (Vice-president)
- ソーシャルデザイン工学科長 (副校長)  
Head of Department of Social Design Engineering (Vice-president)
- 学生主事 (校長補佐)  
Dean of Student Affairs (Assistant to the President)
- 寮務主事 (校長補佐)  
Dean of Dormitory Affairs (Assistant to the President)

事務部

- Administration Office
- 事務部長  
Director of Administration
- 総務課長  
Chief of General Affairs Division
- 学生課長  
Chief of Student Affairs Division

共同利用施設長等

- Director of Joint Use Facilities and Other Incomal Organizations
- 地域連携センター長  
Director of Regional Technology Collaboration Center
- 情報処理センター長  
Director of Information Processing Center
- 教育研究支援センター長  
Director of Education and Research Support Center
- 図書館長  
Director of Library
- アクティブラーニング教育センター長  
Director of Active Learning Education Center
- 環境マネジメント室長  
Director of Environmental Management Office
- 総合学生支援センター長  
Director of Comprehensive Student Support Center
- キャリア支援室長  
Chief of Career Support Office
- 学習支援室長  
Chief of Learning Support Office
- 学生相談室長  
Chief of Student Counseling Office
- 国際交流室長  
Director of International Exchange Office
- 広報戦略室長  
Director of Strategic Public Relations Office

● 教職員数 Number of Teaching and Administrative Staff (as of May 1, 2018)

(平成30年5月1日現在)

| 校長<br>President | 教員 Teaching Staff |                             |                 |                            |                                                  |            | 事務系職員<br>Administrative Staff | 合計<br>Total |
|-----------------|-------------------|-----------------------------|-----------------|----------------------------|--------------------------------------------------|------------|-------------------------------|-------------|
|                 | 教授<br>Professors  | 准教授<br>Associate Professors | 講師<br>Lecturers | 助教<br>Assistant Professors | 特命助教<br>Specialty Appointed Assistant Professors | 計<br>Total |                               |             |
| 1               | 24                | 26                          | 7               | 6                          | 4                                                | 67         | 40                            | 107         |
| 男<br>Males      | 1                 | 24                          | 22              | 4                          | 5                                                | 56         | 24                            | 83          |
| 女<br>Females    | 0                 | 0                           | 4               | 3                          | 1                                                | 9          | 16                            | 24          |

● 教員の学位取得状況 Degrees Held by Teaching Staff

(平成30年5月1日現在)

| 年度<br>Year   | H16<br>2004 | H17<br>2005 | H18<br>2006 | H19<br>2007 | H20<br>2008 | H21<br>2009 | H22<br>2010 | H23<br>2011 | H24<br>2012 | H25<br>2013 | H26<br>2014 | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 | H30<br>2018 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 博士<br>Doctor | 39          | 41          | 44          | 43          | 44          | 47          | 48          | 49          | 49          | 51          | 53          | 51          | 52          | 54          | 54          |
| 修士<br>Master | 16          | 16          | 15          | 15          | 16          | 12          | 12          | 12          | 12          | 8           | 7           | 8           | 9           | 7           | 7           |
| その他<br>Other | 11          | 9           | 6           | 6           | 5           | 5           | 6           | 4           | 4           | 4           | 4           | 4           | 5           | 5           | 6           |

(校長を除く The president excluded)

● 教職員の年齢構成 Age Groups of College Staff

(平成30年5月1日現在)

| 年代<br>Ages              | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 合計 |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 教員<br>Teaching          | 2   | 21  | 16  | 27  | 2   | 68 |
| 事務系職員<br>Administrative | 4   | 9   | 10  | 17  | 0   | 40 |

## 「高知工業高等専門学校における教員個人の教育研究活動等に 係る評価及び運用に係る要項」

### 高知工業高等専門学校における教員個人の教育研究活動等に係る 評価及び運用に係る要項

平成15年 6月 5日校長裁定

(趣旨)

**第1** この要項は、高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）における教育研究活動の一層の活性化を図り、教育・研究機関としての質の向上が自律的かつ継続的になされる体制を構築するため、教員個人の教育研究活動等の評価（以下「個人評価」という。）とその運用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(評価の対象)

**第2** 個人評価の対象とする教員は、本校の教授、准教授、講師、助教及び助手とする。

(個人評価委員会)

**第3** 適切な個人評価を行うため、個人評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、校長、各主事、専攻科長及び事務部長で構成する。
- 3 委員会に関する事務は、総務課において処理する。

(評価項目)

**第4** 本校の目的、目標を明確にし、その目標等を達成するために設定する個人評価の項目は、次のとおりとする。

- (1) 教育活動
  - (2) 研究活動
  - (3) 地域振興活動
  - (4) 管理運営面の活動
  - (5) 自己目標と達成状況
  - (6) 学生による授業評価
  - (7) その他個人評価に関し、校長が必要と認めたもの
- 2 各評価項目の事項等は、校長が関係委員会等に意見を求め、定めるものとする。

(評価の方法)

**第5** 個人評価は、原則として、各教員の自己申告によるものとし、あらかじめ明示された評価項目、各項目の事項、配点により評価を行うものとする。

(評価手続き)

**第6** 委員会は、各教員等から第4に規定する評価項目に対応して次の資料について提出を求め、評価を行うものとする。

- (1) 各年度当初に求める、前年度の活動実績を基とする「教育研究活動等に係る自己申告書」  
(第4第1項第1号～第4号関係)
- (2) 自己目標と達成状況 (第4第1項第5号関係)
- (3) 学生による授業評価結果 (第4第1項第6号関係)
- (4) 不定期に求める「教育研究業績書」 (第4第1項第7号関係)

(評価の運用)

**第7** 各教員は、評価結果を、自己の教育・研究活動等の質の向上と活性化のために活用するものとする。

2 校長は、評価結果を、次の各項目の運用に反映させるものとする。

- (1) 勤勉手当の加算
- (2) 昇給区分の決定
- (3) 校長裁定経費の配分
- (4) その他評価の運用に関し、校長が必要と認めたもの  
(評価結果の公表)

**第8** 個人評価の結果及び運用については、個人情報として取扱い、原則として本人以外には公表しないものとする。

(その他)

**第9** この要項に定めるもののほか、必要な事項は委員会が別に定めるものとする。

**附 則**

この要項は、平成15年6月5日から施行する。

**附 則**

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

出典「高知工業高等専門学校における教員個人の教育  
研究活動等に係る評価及び運用に係る要項」



## 「高知工業高等専門学校教職員表彰規則」

### 高知工業高等専門学校教職員表彰規則

#### 高知工業高等専門学校教職員表彰規則

制 定 平成23年2月17日

一部改正 平成24年4月1日

#### (趣旨)

第1条 この規則は、高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）の教育・研究・学生指導等の諸活動の活性化を図り、教職員の自己研鑽の実をあげることを目的とし、顕著な功績を挙げた者を表彰するため定める。

#### (表彰の基準及び対象者)

第2条 表彰は、本校の教職員で、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 教育活動に顕著な功績があった者
- 二 研究活動に顕著な功績があった者
- 三 学生指導に顕著な功績があった者
- 四 社会貢献に顕著な功績があった者
- 五 その他学校運営に顕著な功績があった者
- 六 その他顕著な功績及び本校の名誉を著しく高めたと校長が認める者

#### (被表彰者の決定)

第3条 被表彰者の決定は、個人評価委員会の議を経て校長が行う。

#### (表彰の方法等)

第4条 表彰は、毎年度末に、校長が被表彰者に別紙様式による表彰状及び副賞を授与することにより行う。ただし、一旦表彰を受けた者は、原則として、その年度から5年間は、表彰の対象外とする。

2 表彰結果は、校内外に公表する。

#### (事務)

第5条 教職員表彰に関する事務は、総務課において処理する。

#### (雑則)

第6条 この規則に定めるもののほか、教職員表彰の実施に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この規則は、平成23年2月17日から施行する。

#### 附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

出典「高知工業高等専門学校教職員表彰規則」

「ゆとりの時間確保策(週1回授業のない日の確保)」

授業のない日

平成31年度 前学期 教員別時間割

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金) and time slots (I, II, III, IV), listing various subjects and activities for different faculty members. Includes a '時数' (hours) column on the right.

~~~~省略~~~~省略~~~~省略~~~~省略~~~~

平成31年4月10日

* 時数は、卒業研究、特別実験、特活、演習を含んでいます。

「内地研究員・在外研究員」

National Institute of Technology, Kochi College

研究活動・地域連携状況に関するDATA

Data on Researches and Regional Collaborations

● 科学研究費補助金／科学研究費助成事業申請・採択件数

Cases Applied and Selected for Grants-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI)

| 年度 Academic Year | | H25
2013 | H26
2014 | H27
2015 | H28
2016 | H29
2017 |
|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 特定研究領域／特別推進研究
Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas/Grant-in-Aid for Specially promoted Research | 申請 Applied | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 新学術領域
Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas | 申請 Applied | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基礎研究 (S)
Grant-in-Aid for Scientific Research(S) | 申請 Applied | 1 (1) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 採択 Selected | 1 (1) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基礎研究 (A)
Grant-in-Aid for Scientific Research(A) | 申請 Applied | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基礎研究 (B)
Grant-in-Aid for Scientific Research(B) | 申請 Applied | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基礎研究 (C)
Grant-in-Aid for Scientific Research(C) | 申請 Applied | 24 (10) | 22 (5) | 25 (4) | 25 (6) | 24 (9) |
| | 採択 Selected | 12 (10) | 6 (5) | 9 (4) | 10 (6) | 14 (9) |
| 挑戦的萌芽研究／挑戦的研究(萌芽)
Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research/Challenging Research(Exploratory) | 申請 Applied | 1 (1) | 2 | 2 | 6 | 6 |
| | 採択 Selected | 1 (1) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 若手研究 (A)
Grant-in-Aid for Young Scientists(A) | 申請 Applied | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 若手研究 (B)
Grant-in-Aid for Young Scientists(B) | 申請 Applied | 10 (2) | 12 (1) | 12 (1) | 13 (2) | 8 (2) |
| | 採択 Selected | 2 (2) | 2 (1) | 2 (1) | 4 (2) | 2 (2) |
| 若手研究 (スタートアップ)／研究活動スタート支援
Grant-in-Aid for Young Scientists(Start-up)/Grant-in-Aid for Research Activity Start up | 申請 Applied | 2 | 3 | 2 | 1 | 5 (1) |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 (1) |
| 奨励研究
Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists | 申請 Applied | 5 | 5 | 5 | 3 | 3 |
| | 採択 Selected | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| その他(厚生科研)
Other (Health and Labor Sciences Research Grants) | 申請 Applied | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 採択 Selected | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 Total | 申請 Applied | 43 (14) | 45 (6) | 47 (5) | 49 (8) | 47 (12) |
| | 採択 Selected | 16 (14) | 9 (6) | 13 (5) | 16 (8) | 17 (12) |
| 転入 Transferred-in | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 採択金額(単位:千円) Total Amount of Aid (to be) Granted (in thousand yen) | | 61,490 | 12,490 | 17,310 | 18,070 | 25,740 |

() は継続件数で内数

● 内地研究員 Domestic Research Fellows (in 2003 and after)

(平成15年度～)

| 年度 Academic Year | 派遣先 Host Institution | 派遣期間 Dispatch Period |
|------------------|--|---|
| 平成15年度
2003 | 高知工科大学
Kochi University of Technology | 平成15年5月1日～平成16年2月27日
May 1, 2003 - February 27, 2004 |
| 平成20年度
2008 | 福門教育大学
Naruto University of Education | 平成20年10月1日～平成21年3月31日
October 1, 2008 - March 31, 2009 |
| 平成21年度
2009 | 東京大学
The University of Tokyo | 平成21年5月1日～平成22年2月28日
May 1, 2009 - February 28, 2010 |

● 在外研究員 Overseas Research Fellows (in 2003 and after)

(平成15年度～)

| 年度 Academic Year | 派遣先 Host Institution | 派遣期間 Dispatch Period |
|------------------|--|--|
| 平成15年度
2003 | アメリカ合衆国
United States of America | 平成15年8月1日～平成16年5月31日
August 1, 2003 - May 31, 2004 |
| 平成17年度
2005 | 中華人民共和國
People's Republic of China | 平成18年3月22日～平成18年7月31日
March 22, 2006 - July 31, 2006 |
| 平成18年度
2006 | ドイツ連邦共和国
Federal Republic of Germany | 平成19年3月25日～平成20年3月18日
March 25, 2007 - March 18, 2008 |
| 平成20年度
2008 | アメリカ合衆国
United States of America | 平成21年3月20日～平成22年3月19日
March 20, 2009 - March 19, 2010 |
| 平成24年度
2012 | ドイツ連邦共和国
Federal Republic of Germany | 平成25年3月31日～平成26年3月21日
March 31, 2013 - March 21, 2014 |
| 平成25年度
2013 | アメリカ合衆国
United States of America | 平成26年3月27日～平成27年3月21日
March 27, 2014 - March 21, 2015 |
| 平成26年度
2014 | イギリス
United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland | 平成27年3月25日～平成28年3月24日
March 25, 2015 - March 24, 2016 |
| 平成29年度
2016 | カナダ
Canada | 平成29年3月26日～平成30年3月23日
March 26, 2017 - March 23, 2018 |

「個人評価に係る自己申告書等の提出について」

平成30年4月19日

教員各位（新任教員を除く）

個人評価委員会委員長

個人評価に係る自己申告書等の提出について（依頼）

このことについて、「高知工業高等専門学校における教員個人の教育研究活動等に係る評価及び運用に係る要項」に基づき、下記の資料について作成の上、5月31日（木）までに総務課人事・労務係（担当：[redacted]）あて親展で提出願います。

なお、電子メールによる提出も可とし、提出用ファイルをサイボウズ文書管理の下記アドレスに掲載しましたので、お手数ですがダウンロードのうえ利用いただきますようお願いいたします。

また、下記の〔提出書類〕3については、平成29年度に「自己目標」を記入したものに「達成状況」を加えご提出願います。もしお手元にデータがない場合はコピーをお届けしますので下記担当までご連絡願います。

総務課>総務課・庶務担当>個人評価>H30個人評価

※なお、自己申告書のデータの一部を教育研究費追加分の参考資料とさせていただきます。

記

〔提出書類〕

1. 「教育研究活動等に係る自己申告書（平成30年度）」
※前年度実績を記入、様式の「記入上の注意」をご確認願います
2. 「自己目標と達成状況（平成30年度）」 ※平成30年度自己目標の記入
3. 「自己目標と達成状況（平成29年度）」 ※平成29年度達成状況の記入

担当：総務課人事・労務係

(宛先) E-mail: [redacted]

出典「個人評価に係る自己申告書等の提出依頼文書」

「教育研究活動等に係る自己申告書」

I. 教育等の活動

1. 授業等の担当

| 番号 | 評価項目 | 配点 | 実績 | 点数 | 備考 |
|-----|---|--|----|-------|----|
| 1 | 担当授業
(1)週当たり授業単位数 | (注1)1単位時間:約50分。実験、実習等を含む。専攻科の授業を含む。卒業研究は含まない。
(注2)一つの授業科目を複数で担当する場合は、授業担当時間を週当たり平均化して、カウントして下さい。
1)15単位時間以上:[3点]
2)12~14単位時間:[2点]
3)11単位時間以下:[1点] | | 0 | |
| | (2)正規授業以外 | 1)進学・就職希望者、資格試験受験者及び達成度の低い学生に実施:[3点]
2)進学・就職希望者、資格試験受験者に実施:[2点]
3)達成度の低い学生に実施:[2点]
4)正規の授業で十分理解されていると判断しているため、補習授業は行っていない:[1点]
5)補習授業は全く考えていない:[0点] | | 0 | |
| 2 | 授業内容・方法
(1)シラバスはあるか、有効に利用しているか | 1)シラバスの内容を学生によく説明し、講義や成績判定に利用している:[3点]
2)シラバスはあり、およその目安としている:[2点]
3)シラバスはあるが、あまり利用していない:[1点]
4)シラバスはまだ作成していない:[0点] | | 0 | |
| | (2)教科書及び参考書は使用しているか | 1)自著の教科書・参考書及び自分で開発した最新の教材を使用している:[3点]
2)自分が選定した教科書あるいは参考書と自分で開発した教材を使用している:[2点]
3)自分で作った教材を使用しているため、教科書・参考書は使用していない:[2点]
4)標準的な教科書あるいは参考書を使用している:[1点] | | 0 | |
| | (3)教育方法の工夫 | 1)双方向型の授業やグループ学習など新しい教育方法を実施している:[3点]
2)一方的な授業にならないように工夫して授業している:[2点]
3)だいたい一方的な講義形式で授業を行っている:[1点] | | 0 | |
| | (4)学生による評価の取り入れ | 1)授業の中で学生が学習到達度を自己点検できるような工夫をしている:[2点]
2)学生による授業評価などを取り入れ、学生の要望にも対応できる授業を行っている:[1点] | | 0 | |
| 3 | (1)成績評価基準 | 1)達成目標に対する達成度で評価している:[3点]
2)クラス内あるいは学年内での相対評価で決めている:[2点]
3)上記以外の評価基準で評価している:[1点] | | 0 | |
| | (2)定期試験や小テストの答案の採点結果や評価結果などを学生本人に返却・通知しているか | 1)定期試験はもとより小テストやレポートを採点して学生に返却し、説明や添削を加え、よく理解させるようにしている:[3点]
2)定期試験、小テスト、レポートは採点して学生に返却している:[2点]
3)定期試験は採点して点数のみ通知している:[1点] | | 0 | |
| | (3)授業の効果の確認 | 1)定期試験で確認するほか、レポートや宿題のチェック、アンケート調査、各種の実力試験、資格試験、コンテストの成績などで確かめている:[3点]
2)定期試験で確認するほか、卒業研究の成果、就職・進学試験の結果などにより授業を与えた学生のその後の成長を確かめている:[2点]
3)定期試験でのみ確認している:[1点] | | 0 | |
| 4 | 授業に関連する指導
(1)欠課の多い学生にはどのように対応しているか | 1)クラス担任と密接に連絡をとりながら早めに対応している:[3点]
2)時期を見てクラス担任と連絡をとりながら、独自でも対応している:[2点]
3)独自で対応している:[1点] | | 0 | |
| | (2)オフィスアワーの設定と活用 | 1)オフィスアワーを設けているが、それ以外でも学生の来室に快く応じている:[3点]
2)オフィスアワー設けて、活用している:[2点]
3)オフィスアワーは特に設けていないが、学生の来室には快く応じている:[2点]
4)オフィスアワーは特に設けておらず、学生の来室には、時期的、時間的な制約をしている:[1点] | | 0 | |
| 5 | 卒業論文指導の状況
(1)指導学生数 | (職位、役職を考慮)
1)標準より多い学生数を指導している:[2点]
2)標準の学生数を指導している:[1点]
3)標準より少ない学生数を指導している:[0点] | | 0 | |
| | (2)テーマ | 1)学生一人ひとりに別々のテーマを与えた:[3点]
2)複数の学生に同一のテーマを与えたところ、各自が独自の論文を作成することができ、独自性は発揮できた。:[2点]
3)複数の学生に同一のテーマを与えたところ、各自が独自の論文を作成することができず、独自性は発揮できなかった:[1点]
4)不適切なテーマであった:[0点] | | 0 | |
| | (3)卒論発表時の評価(学生の資質と指導効果を評価) | 1)学生一人ひとりを良く指導した結果、全て立派な発表であった:[3点]
2)学生一人ひとりを良く指導した結果、ほぼ満足な発表であった:[2点]
3)学生の資質を考慮すれば、適切な発表であった:[1点]
4)全てにおいて指導の不足が見られる発表であった:[0点] | | 0 | |
| | (4)卒業論文の評価(学生の資質と指導効果を評価) | 1)学生一人ひとりを良く指導した結果、全て満足な論文であった:[3点]
2)学生一人ひとりを良く指導した結果、ほぼ満足な論文であった:[2点]
3)学生の資質を考慮すれば、まずまずの論文であった:[1点]
4)全てにおいて指導の不足が見られる論文であった:[0点] | | 0 | |
| 6 | 留学生の指導(教育方法の工夫、生活指導等)
(1)授業の方法等 | 1)留学生がいることを念頭に置いて、常に工夫を凝らして行っている:[2点]
2)留学生用に必要に応じて工夫を凝らして行っている:[1点]
3)留学生がいることに留意、工夫することはしていない:[0点] | | 0 | |
| | (2)課外授業(正規の授業以外の授業) | 1)課外授業を頻繁に行っている:[2点]
2)課外授業を求めに応じて行っている:[1点]
3)課外授業は行っていない:[0点] | | 0 | |
| | (3)生活面の指導や相談について | 1)生活指導や相談を積極的に頻繁に行っている:[2点]
2)生活指導や相談は求めに応じて行っている:[1点]
3)生活指導や相談に留意することはない:[0点] | | 0 | |
| 小 計 | | | | 0 | |
| | | | | 最高49点 | |

~~~~省略~~~~省略~~~~省略~~~~省略~~~~

出典「教育研究活動等に係る自己申告書 抜粋」

## 自己目標と達成状況（平成30年度）

所属：ソーシャルデザイン工学科

職名：

氏名：

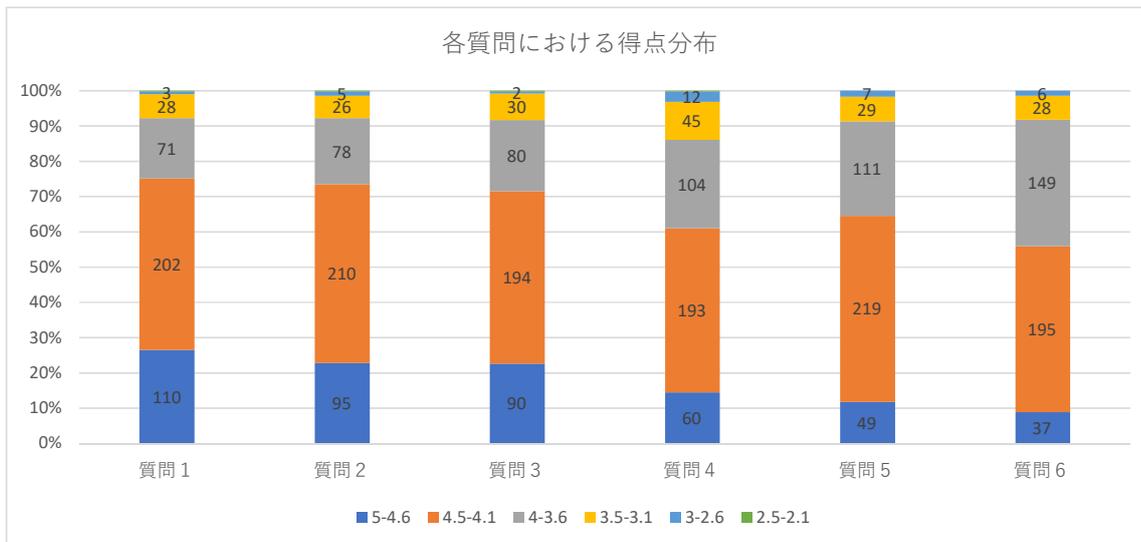
- 平成30年度に計画する自己目標を申告し、各項目の申告内容について、年度終了後、目標の達成度を自己検証する。

| 事項                              | 自己目標 | 達成度 |
|---------------------------------|------|-----|
| 1. 教育に関する事項<br>①授業に関すること        |      |     |
| ②学生生活指導に関すること                   |      |     |
| ③その他                            |      |     |
| 2. 研究に関する事項                     |      |     |
| 3. 運営への参加に関すること<br>(学校全体及び所属学科) |      |     |
| 4. 地域社会との連携に関する事項               |      |     |
| 5. その他                          |      |     |

## 「学生による授業評価アンケートの学生評価の概況」

## 質問内容

- Q1 学習・教育目標と達成・到達目標, 成績評価方法, 教育内容や教育方法が, シラバスに記載されている。  
もしくは授業中に周知されている。
- Q2 授業内容や試験等の内容はシラバスや授業中の周知内容と同様であった。
- Q3 成績評価はシラバスや授業中の周知内容と同様であった。
- Q4 学生の質問, 提出した課題, 答案の回答に対して, 納得できるように丁寧に説明・指導してくれた。
- Q5 この授業の内容を理解するために積極的に取り組んだ。
- Q6 練習問題や試験, 実技を通して自分の理解や到達状況を確認しながら学習した。



出典「平成30年度 学生による授業評価アンケート結果 速報」

## 「校内予算配分(教員の研究経費の傾斜加算額について)」

## 平成30年度予算の概要について(案)

## 1. 機構から本校への予算配分表・・・資料1

## 2. 機構からの各学校への予算配分の考え方

- ①人件費(超過勤務手当を含む)については、本部事務局に一括配分
- ②一般管理費については、対前年度3%減額
- ③その他経費については、対前年度1%減額

## 3. 本校の学内予算配分方針・・・資料2

- (1) 従来の学科配分予算のうち、「教員分」及び「学生分」は統合し「教員学生分」とし、機構本部配分単価を基に教員分については昨年度と同額、学生分については△1%減による単価変更とする。(教員分@202,000円：学生分@9,800円→@9,700円と@23,000円→@22,000円)「教員学生分」の配分は次のとおりとする。

## ①校長裁量経費充当分

- ・全体予算の状況を勘案し、充当額を決定。  
(本年度は教員学生分の17%：昨年度17%)

## ②電気代等学校の共通経費充当分

- ・全体予算の状況を勘案し、充当額を決定。  
(本年度は教員学生分の3%：昨年度3%)

## ③セクションマネジメント経費

- ・学生所属組織の円滑な運営を図るための経費として、ソーシャルデザイン工学科に配分。

## ④教員の教育研究経費

- ・直接教員に配分。

- (2) セクションマネジメント経費(本年度12,000,000円：昨年度12,000,000円)

- 学生所属組織の円滑な運営を図るための経費として、ソーシャルデザイン工学科に配分し、ソーシャルデザイン工学科長を中心にコース長、基礎教育長、継続4工学科長、専攻科長、専攻科主任で個々の配分額を決定する。

- (3) 教員の教育研究経費(本年度総額10,700,000円：昨年度11,796,000円)

- 教員の教育研究経費は、直接教員に配分する。配分額は、「教員分基礎額」+「傾斜加算額」とする。

- 「教員分基礎額」は、従来の学科での予算使用実績を精査した上で決定する。

- ・本年度は130,000円 ※昨年度130,000円

- 「傾斜加算額」は、「教員学生分」の予算から上記(1). ①～③及び「教員分基礎額」を差し引いた額を原資とし、校務・課外活動を含め教育研究全般における各教員の活動実績や研修への参加等を踏まえ校長が決定する。

- ・各評価項目は資料3のとおり

- (4) 熱水量及び管理運営費については、予算配分額にかかわらず、節減に努めることとする。

- (5) 業務の効率化(額)について

(本校) 940千円

運営費交付金(設置基準により必要とされる最低限の教職員の給与費相当額及び特別教育研究経費並びに特殊要因経費を除く)を毎事業年度につき1%(一般管理費については3%)の業務効率化を図る

(資料3)

教員の教育研究経費傾斜加算評価項目（案）

- ・ 授業担当
- ・ FD 活動
- ・ 学生生活指導
- ・ 研究活動
- ・ 地域活動
- ・ 管理活動
- ・ 特別加算  
（校務分掌、特別業務、年齢、校長裁定）

出典「平成30年度第4回運営会議 審議資料1」

## 「教員の個人評価の実施がわかる資料-1」

## 平成30年度第4回個人評価委員会議事概要

1. 日 時 平成30年11月2日（金）10:00～10:50
2. 出席者 校長、教務主事、専攻科長、学生主事、寮務主事、事務部長
3. 陪席者 総務課長、課長補佐（総務）、人事・労務係長
4. 配付資料
  - 【資料1】教員による自己評価結果（項目別）
  - 【資料2】教員による自己評価結果
  - 【資料3】学生による教員評価結果、教員の相互評価結果
  - 【資料4】教員顕彰推薦者一覧
  - 【資料5】教員一覧（29.10.1現在）
  - 【参考資料1】国立高等専門学校教員顕彰実施要項※
  - 【参考資料2】平成28年度国立高等専門学校教員顕彰受賞者一覧※
  - 【参考資料3】受賞者の業績概要等※
  - 【参考資料4】教員個人の教育研究活動等に係る評価及び運用に係る要項※

※ 会議開催時点において、平成30年度の候補者推薦に係る依頼が無いため、参考として平成29年度のを添付。

## ○ 議 題

1. 平成30年度国立高等専門学校教員顕彰候補者の選考について
 

資料1～5及び参考資料1～3に基づき、推薦条件を踏まえ審議を行った結果、一般部門は ████████ 教授を、若手部門は ████████ 准教授をそれぞれ候補者として推薦することとした。また、評価を希望する分野については、一般部門は「学生生活指導について」とし、若手部門は「教育活動」とした。
2. その他
 

平成31年度の選考においては、「学生による授業評価」において、「科目別の評価」等も資料として取り入れてはどうかとの意見が出された。

出典「平成30年度第4回教員個人評価委員会概要」

## 「教員の個人評価の実施がわかる資料-2」

## 平成30年度第6回個人評価委員会議事要録

日 時 平成31年2月25日(月) 10:58～ 11:25  
 場 所 管理棟2階中会議室  
 出席者 校長、■■■■教務主事、■■■■専攻科長、■■■■学生主事、■■■■寮務主事、  
 ■■■■事務部長  
 陪席者 総務課長、課長補佐(総務担当)、人事・労務係長

## 配付資料

- 【資料1】 平成30年度高知工業高等専門学校教職員表彰候補者選考用資料
- 【資料2-1】 平成30年度年度計画の進捗状況(3月末)
- 【資料2-2】 平成30年度年度計画にかかる表彰等調査結果
- 【参考資料1】 高知工業高等専門学校教職員表彰者一覧
- 【参考資料2】 教員表彰状況(H30教員顕彰選考資料)
- 【参考資料3】 学生投票・教員投票集計結果(H30教員顕彰選考資料)
- 【参考資料4】 高知工業高等専門学校教職員表彰規則
- 【参考資料5】 教員の自己採点(案)(平成30年度実施分)

## 議 題

1. 平成30年度高知工業高等専門学校教職員表彰規則第3条による候補者の選考について

## 【審議の結果】

|      |      |            |        |
|------|------|------------|--------|
| 第18号 | ■■■■ | 第2条(表彰の基準) | 1号にあたる |
| 第19号 | ■■■■ | 第2条(表彰の基準) | 3号にあたる |

以上2名の候補者が選考され了承された。

表彰は、3月13日(水)開催の教員会で行うことが決定した。

2. 平成30年度年度計画の進捗状況(3月末)について

校長から資料2-1及び2-2に基づき、平成30年度年度計画の進捗状況(3月末)について説明が行われ、内容を確認した結果、資料2-1の修正案どおりすることとなり、「識別番号I1(3)オ②」について、先の議題で決定した「2名」を「〇名」となっている箇所記入することとし、承認された。

また、個人評価委員会が担当委員会である各項目について、3月末時点の自己評価として、何れの項目とも「A:計画どおり実施できた」とすることが確認された。

## 「高知工業高等専門学校教員選考委員会規則」

## 高知工業高等専門学校教員選考委員会規則

制 定 平成18年 2月16日

一部改正 平成28年 5月19日

(設置)

**第1条** 高知工業高等専門学校に、高知工業高等専門学校教員人事委員会規則第9条第3項に基づき、高知工業高等専門学校教員選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

**第2条** 委員会は次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教員選考方針及び公募に関すること
- (2) 教員選考の審査に関すること
- (3) その他教員の選考に関すること

(組織)

**第3条** 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 校長
- (2) 教務主事
- (3) 専攻科長
- (4) ソーシャルデザイン工学科長
- (5) 校長が指名する教授 若干名

2 前項第5号の委員は、准教授、講師、助教又は助手の選考であり、かつ、特に必要があると認めた場合は、准教授を含めることができる。

(委員長)

**第4条** 委員会に委員長を置き、校長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(会議)

**第5条** 委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

(委員以外の者の出席)

**第6条** 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(教員人事委員会への報告)

**第7条** 委員会は、選考結果については速やかに高知工業高等専門学校教員人事委員会に報告を行うものとする。

(守秘義務)

**第8条** 委員は、教員の選考にかかる審議事項を他に漏らしてはならない。

(委員会の解散)

**第9条** 委員会は、選考した教員の発令をもって解散する。

(事務)

**第10条** 委員会の事務は、総務課において処理する。

(雑則)

**第11条** この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

**附 則**

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成21年10月15日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成28年5月19日から施行し、平成28年5月1日から適用する。

出典「高知高専HP：[https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/103071\\_kisoku-280519.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/103071_kisoku-280519.pdf)」

## 「履歴書（様式1）・研究業績リスト（様式2）」

様式1

## 履 歴 書

|                    |               |    |                            |
|--------------------|---------------|----|----------------------------|
| ふりがな               |               | 性別 | (写真貼付欄)<br>(5cm×3cm 4.5cm) |
| 氏名                 | ⑩             |    |                            |
| 生年月日(年齢)           | 年 月 日(満 歳)    |    |                            |
| 現住所                | (〒 - )        |    |                            |
| 連絡先                | TEL<br>E-mail |    |                            |
| 学 歴 (高等学校以上の学歴を記載) |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 職 歴                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |
| 年 月                |               |    |                            |

| 免許・資格・学位（「修士」以上の学位を記載） |              |                   |
|------------------------|--------------|-------------------|
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 所 属 学 会                |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 受賞・表彰歴等                |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| その他（社会における活動等）         |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 年 月                    |              |                   |
| 家 族 構 成                |              |                   |
| 扶養家族数（配偶者を除く）<br>人     | 配偶者<br>有 ・ 無 | 配偶者の扶養義務<br>有 ・ 無 |
| 年 月 日                  |              |                   |
| 上記のとおり相違ありません。         |              |                   |
| 氏 名                    |              | 印                 |

研究業績リスト

|          |       | 氏 名   |         | 印           |     |
|----------|-------|-------|---------|-------------|-----|
| 整理<br>番号 | 発表年月日 | 発表課題名 | 発表学会誌名等 | 単著・共<br>著の別 | 備 考 |
|          |       |       |         |             |     |

(記入上の注意)

1. 著書・論文・口頭発表・特許等について、各項目ごとに発表年月日の古い順から記入すること。（「整理番号」は、一連とする。）
2. これらのうち、主要なもの（5編以内）については、「整理番号」を○で囲み、『別刷』（コピー可）を添付すること。
3. 「共著」の場合は、共著者全員を原文の順番に「備考」欄に記載し、本人執筆分を明記すること。

## 「二次選考(模擬授業および面接)」

殿

## 第二次選考にかかる「模擬授業」実施要領

- 日 時 : 平成31年 1月22日(火) 12:50~13:35
- 場 所 : 高知工業高等専門学校 機械工学科棟3階 機械工学科4年教室
- 対 象 : 機械工学科 第4学年学生(在籍39名)
- 内 容 : 本校機械工学科4年生が履修する『機械デザイン II』の内容である「機械を動かす力とトルク」の授業(45分間)をお願いします。  
 内容としては、機械設計における慣性モーメントの適用について説明してください。シラバスの後期11週目にあたります。参考までに、使用教科書の対応箇所と演習問題およびその解答部分も送付します。  
 すでに物理学で慣性モーメントの概念を学習している学生達ですが、機械設計における慣性モーメントの概念の必要性を理解できるような、わかりやすい説明をお願いします。注意にもありますようにスライド等の利用はせずに、教室のホワイトボードを利用した授業形式でお願いしますが、印刷物の資料を配布していただいても結構です。  
 なお、アクティブラーニング(例えば、グループワーク)などを取り入れ、学生の理解度をより高める授業の工夫は自由に行ってください。
- 注 意 : 模擬授業の内容に関して、「授業計画」(指導案)の作成をお願いいたします(形式は自由。A4で1枚程度。部数は10部御準備ください)。資料を学生に配付する場合は、49部準備願います。なお、授業ではプロジェクターやOHPなどの視聴覚機器を使用せず、ホワイトボードによる板書等を活用する方法をお願いします。
- その他 : 模擬授業に際し、ご不明な点がございましたら、事前にソーシャルデザイン工学科長または総務課人事・労務係にご連絡ください。

(連絡先)

〒783-8508

高知県南国市物部乙200番1

高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科長

TEL

TEL

出典「第二次選考にかかる「模擬授業」実施要領」



## 「教員の採用に係わる審議資料」

第3回ソーシャルデザイン工学科 ( ) 分野・常勤) 教員選考委員会  
議事要録

- 1 日時 平成31年 1月22日(火) 14:20～14:29
- 2 場所 管理棟2階中会議室
- 3 出席者 校長、 教務主事、 専攻科長、 ソーシャルデザイン工学科長、  
 教授、 教授、 教授
- 欠席 なし
- 陪席者 総務課長、総務課課長補佐(総務担当)、人事・労務係長

## 4 第二次選考対象者

( )

## 5 選考結果

ソーシャルデザイン工学科 ( ) 連分野・常勤) の第二次選考対象者である  
 氏について、1月22日(火)に模擬授業45分及び約30分の面接を実施した。

その後第3回教員選考委員会を開催し、慎重に審議した結果、 氏を 准教授 として  
適任であると認め、同人を ( )  
 採用内定することに決定した。

辞退が出た場合、再公募する方針となった。

( )

出典「平成30年度教員選考委員会 議事要録」

## 「高知工業高等専門学校非常勤講師雇用基準」

## 高知工業高等専門学校非常勤講師雇用基準

平成18年 2月16日 校長裁定  
 一部改正 平成28年 2月18日  
 一部改正 平成29年 1月20日

(趣旨)

**第1** この基準は、高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）における非常勤講師の資格及び雇用手続き等に関し、必要な事項を定める。

(雇用方針)

**第2** 非常勤講師の雇用は、真に止むを得ない事情がある場合及び特殊な専門知識・技術を必要とする授業の実施により、授業内容の充実が期待される場合に行うものとする。

(資格)

**第3** 非常勤講師となることのできる者は、次の各号に該当し、かつ、本校における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする。

- (1) 本校教員選考基準第3条から第5条に規定する講師以上の資格を有する者
- (2) 雇用しようとする年度の末日の年齢が、満70歳以下の者  
ただし、特殊な専門知識・技術を必要とする場合は、この限りでない。

(雇用計画)

**第4** 非常勤講師を雇用しようとするときは、ソーシャルデザイン工学科長（以下「学科長」という。）及び各コース長は、次に掲げる要件に留意のうえ、別紙「平成 年度非常勤講師雇用願」により年間雇用計画を作成し、雇用年度の前年度の1月下旬までに教務主事へ提出するものとする。

- (1) 新規増員及び定年退職教員の雇用については、真に止むを得ない事情がある場合に限り、事前に教務主事に相談のうえ、校長に協議する。
  - (2) 新規雇用予定者については、事前に校長または副校長が面談を行うものとする。
- 2 年度の中途において、新たな雇用計画又は変更が生じたときは、学科長及び各コース長は速やかに別紙「平成 年度非常勤講師雇用願」により、教務主事に提出するものとする。

(雇用計画の審議)

**第5** 教務主事は、第4の雇用計画について、速やかに教務委員会において審議し、非常勤講師雇用計画書を校長に提出し、承認を得る。

(報告)

**第6** 校長は、非常勤講師雇用計画について、運営会議に報告するものとする。

(事務)

**第7** 非常勤講師の雇用手続きに関する事務は、学生課の協力を得て、総務課において処理する。

(無期雇用への転換)

**第8** 無期雇用への転換については、独立行政法人国立高等専門学校機構非常勤教職員就業規則第54条から第57条による。なお、無期雇用の転換を申し出た者について第3

条第2号は適用しない。

**附 記**

この基準は、平成18年4月1日から施行する。

**附 記**

この基準は、平成20年4月1日から施行する。

**附 記**

この基準は、平成21年4月1日から施行する。

**附 記**

この基準は、平成23年12月21日から施行し、平成21年10月15日から適用する。

**附 記**

- 1 この基準は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第4条第1項及び第2項の「学科長」には、従前の機械工学科長、電気情報工学科長、物質工学科長、環境都市デザイン工学科長が含まれる。

**附 記**

この基準は、平成29年 1月20日から施行する。

別紙

平成 年度非常勤講師雇用願

平成 年 月 日

高知工業高等専門学校長 殿

学科名：

学科長・

コース長：

印

当学科において、平成 年度の非常勤講師として下記の者を雇用したいので、よろしくお取計らい願います。

記

| 氏名<br>(雇用年度末日の年齢) | 現職 | 雇用期間                   | 週時間<br>延長時間 |  | 本科・専攻科<br>の別 | 授業科目 | 新規・継続の別  | 雇用理由 |
|-------------------|----|------------------------|-------------|--|--------------|------|----------|------|
|                   |    |                        |             |  |              |      |          |      |
| ( )               |    | 自平成 年 月 日<br>至平成 年 月 日 |             |  | 本科<br>専攻科    |      | 新規<br>継続 |      |
| ( )               |    | 自平成 年 月 日<br>至平成 年 月 日 |             |  | 本科<br>専攻科    |      | 新規<br>継続 |      |
| ( )               |    | 自平成 年 月 日<br>至平成 年 月 日 |             |  | 本科<br>専攻科    |      | 新規<br>継続 |      |
| ( )               |    | 自平成 年 月 日<br>至平成 年 月 日 |             |  | 本科<br>専攻科    |      | 新規<br>継続 |      |
| ( )               |    | 自平成 年 月 日<br>至平成 年 月 日 |             |  | 本科<br>専攻科    |      | 新規<br>継続 |      |

(注1)「本科・専攻科の別」及び「新規・継続の別」欄について、該当に○印をつけること。

(注2)「雇用理由」欄は、新規の場合及び66歳以上の者を雇用する場合に記入すること。

(注3)新規の場合及び継続で履歴事項に変更のある場合は、履歴書を添付すること。

## 「アクティブラーニング教育センターの目的」

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
**高知工業高等専門学校**  
 National Institute of Technology, Kochi College

緊急情報連絡サイト | カスタム検索 | サイトマップ | 交通アクセス | お問い合わせ | English

学校案内 | 学科・専攻科 | キャンパスライフ | 入学案内 | 就職・進学 | 教育・研究施設 | 其他のご案内

▶ アクティブラーニング教育センター

### アクティブラーニング教育センター



アクティブラーニング教育センターは、本校の教育理念及び教育目標を達成するため、教育方法・教育技術の改善・向上の推進を目的とした組織です。業務としてICT活用教育を含むアクティブラーニングの強化、教育方法・教育技術の改善・向上に関する教員や職員の能力向上に取り組み、その他スタッフディベロップメントの推進を行います。教育成果の評価にも取り組みます。

アクティブラーニング教育センターの主な活動内容は、

1. 学生による授業評価アンケートの実施と分析
2. 教員による相互授業参観の実施
3. 教員FD研修会の企画立案と実施
4. アクティブラーニング促進のための取り組み  
 (研修会の実施、情報交換会の開催、AL室の整備)  
 などです。



### 授業評価アンケート

高知高专では教員の授業改善のために、学生による授業評価アンケートを年に2回実施しています。アンケートは学内専用のwebアプリケーションを使って実施され、集計完了後に授業担当教員がアンケート結果に対する改善コメントを記入します。アンケート集計結果と改善コメントは学生に二週間程度開示されます。教員は自分の評価結果と全科目の集計結果を閲覧できます。自身の教育評価をもとにして、より効果的な教育を追い求めることができます。

学内専用：学生用 (※教員用は別アドレスです)

- 平成30年度 [全体集計結果](#)

| 科目  | 評価  | コメント |
|-----|-----|------|
| ... | ... | ...  |

出典「高知高专HP: <https://www.kochi-ct.ac.jp/alcenter/altop>」

## 「高知工業高等専門学校アクティブラーニング教育センター規則」

### 高知工業高等専門学校アクティブラーニング教育センター規則

制 定 平成27年 2月19日

一部改正 平成29年 6月15日

(趣旨)

**第1条** この規則は、高知工業高等専門学校内部組織規則第3条第6項の規定に基づき、高知工業高等専門学校アクティブラーニング教育センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** センターは、本校の教育理念及び教育目標を達成するため、教育方法・教育技術の改善・向上を推進することを目的とする。

(業務)

**第2条の2** センターは、前条の目的を達成するため、ICT活用教育を含むアクティブラーニングの強化、教育方法・教育技術の改善・向上に関する教員や職員の能力向上に取り組み、その他スタッフ・ディベロップメントの推進を行う。

(組織)

**第3条** センターは、次に掲げるセンター員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 校長が指名する教員 若干人
- (4) 学生課長

2 前項第3号の委員は、校長が命ずる。

(任期)

**第4条** 第3条第1項第3号のセンター員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、センター員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務)

**第5条** センターに関する事務は、学生課において処理する。

#### 附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規則は、平成29年6月15日から施行する。

出典「高知高専HP：[https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/107120\\_kisoku-290615.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/107120_kisoku-290615.pdf)」

## 「教育改善の活動実績」

## National Institute of Technology, Kochi College

## ● 図書館 Library (as of May 1, 2018)

## 蔵書数 Collection of Books and Other Documents

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

## 図書 Books

| 区分<br>Category       | 総記<br>General Works | 哲学<br>Philosophy | 歴史<br>History | 社会科学<br>Social Sciences | 自然科学<br>Natural Sciences | 工学<br>Technology & Applied<br>Industry & Commerce | 産業<br>Industry & Commerce | 芸術<br>Arts | 語学<br>Language | 文学<br>Literature | 計<br>Total |
|----------------------|---------------------|------------------|---------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------|------------|----------------|------------------|------------|
| 和書<br>Japanese Books | 4,024               | 3,631            | 6,159         | 7,260                   | 18,483                   | 25,765                                            | 844                       | 3,784      | 5,232          | 15,341           | 90,523     |
| 洋書<br>Foreign Books  | 275                 | 610              | 427           | 436                     | 1,683                    | 3,660                                             | 18                        | 73         | 3,249          | 888              | 11,319     |
| 合計<br>Total          | 4,299               | 4,241            | 6,586         | 7,696                   | 20,166                   | 29,425                                            | 862                       | 3,857      | 8,481          | 16,229           | 101,842    |

## 図雑誌及び視聴覚資料 Magazines and Audio-Visual Materials

|                           |       |                                                            |       |
|---------------------------|-------|------------------------------------------------------------|-------|
| 和雑誌<br>Japanese Magazines | 178 種 | DVD・CD-ROM                                                 | 193 本 |
| 洋雑誌<br>Foreign Magazines  | 35 種  | 電子ジャーナル・電子データベース<br>Electronic Journal・Electronic Database | 7 種   |

## 利用状況の推移 Visitors and Utilization by Year

## 入館者数 Number of Visitors

| 年度<br>Academic Year | H26<br>2014 | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 入館者数<br>Visitors    | 34,896      | 36,203      | 45,346      | 49,941      |

## 貸出冊数 Number of Books Checked Out

| 年度<br>Academic Year       | H26<br>2014 | H27<br>2015 | H28<br>2016 | H29<br>2017 |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 貸出冊数<br>Books Checked Out | 14,567      | 16,225      | 22,972      | 18,591      |

## ● 教育改善の活動 Educational Improvement Activities (in academic year 2017)

(平成 29 年度)

| 月日<br>Date and Timing              | 事項<br>Events                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年度当初<br>Early in the academic year | 保護者による授業参観の実施<br>Holding class observation days for parents                                                                                                                                                                                                   |
| 年間 2 回<br>Twice a year             | 学生による授業評価アンケートの実施と教員によるコメントの開示<br>Taking a class evaluation survey by students and disclosing teachers' comments on the results                                                                                                                               |
| 年間 1 回<br>Once a year              | 教員による相互授業参観の実施<br>Conducting peer evaluation on teaching                                                                                                                                                                                                      |
| 年間 1 回<br>Once a year              | 教員による相互評価の実施<br>Conducting mutual class observation by teachers                                                                                                                                                                                               |
| 年間 1 回<br>Once a year              | 学生による教員評価の実施<br>Taking a teacher evaluation survey by students                                                                                                                                                                                                |
| 9 月 5 日<br>September 5             | FD 研究会「アクティブラーニング実践 ～試験紙法をやってみよう～」<br>FD Workshop "An Actual Practice of Active Learning: Introducing Test Paper Method"                                                                                                                                      |
| 12 月 8 日<br>December 8             | SD 研究会「広尾学園の学校改革について」<br>SD Workshop "An Overview of School Reforms of HIROO GAKUEN High School"                                                                                                                                                              |
| 年間<br>All year round               | 情報系教員対象セキュリティ講習会<br>Security seminars for teachers in ICT-related subjects<br>四国地区大学教職開発力開発ネットワーク、高専機構等主催の研究会に参加<br>Attending workshops held by SPOD, National Institute of Technology, and more National Technical College Student Supporters' Study Meeting |

## ● 学生相談室の活動 Activities of Student Counseling Office (in academic year 2017)

(平成 29 年度)

| 時期<br>Timing             | 事項<br>Events                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年間<br>All year round     | 昼休み・放課後の相談活動 (月～金曜日)<br>Counseling in the lunchbreak and after classes (Monday through Friday)                                                                                                                                                                                                                                                |
| 年間 2 回<br>Twice a year   | 「こころと体の健康調査」実施 (全学生対象)<br>Conducting a survey on "The Health Condition of Your Body and Mind" (for student in all grades)                                                                                                                                                                                                                     |
| 年間 2 回<br>Twice a year   | 「OU テスト」実施 (1～3 年生対象)<br>Conducting "OU Test" (for student in 1st - 3rd grades)                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 年間 3 回<br>3 times a year | 学生相談室がより発行 (4 月、10 月、2 月)<br>Issuing Student Counseling Office newsletters (in April, October, and February)                                                                                                                                                                                                                                  |
| 年間 2 回<br>Twice a year   | 要支援学生の外部機関を含めた支援会議<br>Holding case meetings for students with support needs with attendance of related external parties                                                                                                                                                                                                                       |
| 年間 5 回<br>5 times a year | 校外研修会等への委員の参加<br>Attending external seminars and meetings (office members)<br>【1】 四国地区学生相談室連絡協議会 【2】 全国高専メンタルヘルス研究会 【3】 中国四国大学保健管理研究会<br>【4】 全国学生相談室研究会 【5】 柳井学生支援実務者育成研修会<br>【6】 高専機構等主催の研究会に参加<br>Attending workshops held by SPOD, National Institute of Technology, and more National Technical College Student Supporters' Study Meeting |

## ● キャリア支援室の活動 Activities of Career Support Office (in academic year 2017)

(平成 29 年度)

| 時期<br>Timing                   | 事項<br>Events                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月<br>May                     | 公務員試験受験に向けた説明会 (全学年希望者対象)<br>Guidance session for civil service examination (for students in all grades who are interested)                                                                                                                                                                         |
| 年間 (計 11 回)<br>11 times a year | キャリア支援プログラム (マナー教育や SPI 受験講座などを含む) (1～4 年生対象)<br>Career support programs (including lectures on business manner and SPI tests) (for students in 1st - 4th grades)                                                                                                                                   |
| 12 月<br>December               | 進学セミナー<br>Guidance seminar on continuing higher education                                                                                                                                                                                                                                           |
| 1 月<br>January                 | 進路ガイダンス<br>Guidance seminar on career options                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3 月<br>March                   | 面接練習 (4 年生希望者対象)、就職セミナー、県内企業説明会・企業合同説明会 (3、4 年生・専攻科 1 年生対象)<br>Practising interview interview (for students in 4th grade who are interested), job-hunting seminar, intracampus sessions by regional companies, and joint job fair (for students in 3rd - 4th grade and 1st year of Advanced Course) |
| 年間<br>All year round           | 進学支援活動 (英語、数学、物理・化学演習) (3～5 年生対象)<br>Support activities for continuing higher education (overseas in English, math, physics, and chemistry) (for students in 3rd - 5th grades)                                                                                                                      |

## 「FDの実施方針・内容・方法等がわかる資料」

本校の教育点検と教職員の能力向上のための研修体制方針について

アクティブラーニング教育センター長 

平成29年4月の高等専門学校設置基準改正により職員（教職員の総称）の能力や資質を向上させるための研修の機会を設けることが義務化されるなど、本校の教育点検・改善活動をめぐる状況は変わり続けている。本校が行ってきたFD活動を従来の形式のままで継続することは、近年の変化に対応しきれない事態が懸念される。

そこで従来行ってきた教育改善活動、職員研修の基本方針を明確化して、その基本方針に基づき時代に即した修正変更を適宜行うこととする。修正に関する議論は運営会議、教務委員会、アクティブラーニング教育センターなど各所轄組織でその都度行い更新する。

以下に各活動の基本方針を示す。

### 教育点検の方針

#### 教育成果の達成状況点検

卒業・修了時の達成度評価アンケート調査によって行う。（年一回）

#### 授業内容の適切さ点検

学生による授業評価アンケート調査（年二回）および保存された教育資料に基づき行う

#### 教育の状況点検と情報共有

教員による相互授業参観（年一回以上）および教員へのアンケート調査（隔年程度）により行い、結果を学内公表し情報共有する。

#### 社会からの評価と要望の調査

卒業して一年以上経過した卒業生・修了生へのアンケート調査および求人企業へのアンケート調査により行う。（三年毎に実施）

### 職員の能力や資質向上の方針

FD・SD研修会：任意参加でSPOD講師派遣事業を活用して実施。（年一回）

全教職員SD研修会：外部講師招聘により行う（年一回）

新任教員研修：着任3年以内で高等専門学校等での教員経験がない者に行う。

高専機構の初任者研修も活用する。(対象者があれば実施)

その他校内外で行われる教育講演会や研修会，教育研究シンポジウムへの参加を推奨する。

以上

出典「本校の教育点検と教職員の能力向上のための研修体制方針」

「FD活動の実施状況がわかる資料-1」

高知高専 平成30事業年度 年度計画進捗状況表 (3月末)

| 【活動名称】                                                                                            | キーワード   | 年度計画                | 担当委員会又は担当部署 (○は主担当)                     | 業務担当係 (○は主担当係) | 平成30年度「年度計画」進捗状況 | 評価                                                                                                                          | 担当委員会<br>主任委員 | 担当部署<br>主任委員 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------|-----------------------------------------|----------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------|
| 1 教員に対する支援                                                                                        |         |                     |                                         |                |                  |                                                                                                                             |               |              |
| 1-1 大学教職の育成                                                                                       |         |                     |                                         |                |                  |                                                                                                                             |               |              |
| メディアを通じた広報活動の実施・広報資料の作成 優秀な学生を育成するために、広報戦略に基づく広報を実施する。また、広報資料を有効に活用して、必要に応じて見直しを行う。実施する内容は、次のとおり。 |         |                     |                                         |                |                  |                                                                                                                             |               |              |
| 継続                                                                                                | 11(1)ア① | 【広報活動の強化】<br>【広報戦略】 | ① 策定した広報戦略の実施                           | ○広報戦略課         | ○総務係             | ・協賛の新聞掲載(2回)について、HPの更新・充実、テレビ等による学校紹介動画の制作・配信・PRの必要・制作・配信を実施した。                                                             |               | A            |
| 継続                                                                                                | 11(1)ア② |                     | ② 県内私立(土佐、宇治)高校の教員研修へ派遣<br>入学のメリットを説明する | ○教務委員会         | ○教務係             | ・本校の導入学経験の教員研修の開催を行ったので、その内容を踏まえ、県内導入学入試に向けた取組の開催に向け、県内私立高校へ連絡した。                                                           |               | A            |
| 継続                                                                                                | 11(1)ア③ |                     | ③ 学校紹介のテレビ番組を制作・放送                      | ○広報戦略課、教務委員会   | ○総務係、教務係         | ・入学準備のため、学校紹介番組「プロフェッショナルへの道2019」(2分間)を企画・制作し、テレビ放映した(9月4日、10月4日、11月1日、9月2日)。<br>・学校イベント開催(オープンキャンパス、キャンパスツアー)後高知するテレビCMを企画 |               | A            |

～～省略～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

| 【活動名称】                                                                                 | キーワード  | 年度計画                 | 担当委員会又は担当部署 (○は主担当)                | 業務担当係 (○は主担当係) | 平成30年度「年度計画」進捗状況 | 評価                                                                                                                                                              | 担当委員会<br>主任委員 | 担当部署<br>主任委員 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------|------------------------------------|----------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------|
| 2 女性教員採用の促進                                                                            |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 2-1 女性教員採用の促進                                                                          |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 女性教員の採用の促進は採用して、働きやすい環境整備を実施する。実施する内容は、次のとおり。                                          |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 継続                                                                                     | 110(ウ) |                      | ① 女性教員採用状況の把握                      | ○人事委員会         | ○人事・教務係          | ・女性教員は採用のため、教員公募の際には「男女共同参画社会推進法の法に基づき、業務の特性と求められる条件は女性に優れるべき旨を明記したうえで募集している。教員人事委員会から行われる。教員採用委員会において実施している。                                                   |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(ウ) | 【女性教員採用方法】           | ② 女性教員採用の公募採用に門戸を広く、採用後は上級職への進路を促進 | ○人事委員会         | ○人事・教務係          | ・教員公募に関しては、教員採用センターが中心となりSD推進委員「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教員採用をつくる。【招聘】高知大学准在学学生に「学部の存在を学生生活の奨励として、9月21日(金)にSD推進委員プログラムを活用した「学生の存在を学生生活の奨励として」～高知大学～」を開催し、25名の教員を参加させた。 |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(ウ) |                      | ③ 女性教員採用促進の啓発を優先的に実施しやすくなる環境を整える   | ○男女共同参画推進委員会   | ○総務係             | ・教員採用に専断性のあるカーテンを設けたスペースを設けたスロモを設け、女性向け情報発信。【招聘】高知大学准在学学生に「学部の存在を学生生活の奨励として、9月21日(金)にSD推進委員プログラムを活用した「学生の存在を学生生活の奨励として」～高知大学～」を開催し、25名の教員を参加させた。                |               | A            |
| 2-2 教員研修                                                                               |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| アクティブ・ラーニング教員センターを中心に、教員の教育力の向上を図るため、全教員が参加し1泊2日研修するようFD・SD活動計画を策定し実施する。実施する内容は、次のとおり。 |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 継続                                                                                     | 110(エ) |                      | ① 高知大学教員研修ネットワーク(SPOD)への参加         | ○AL教員センター      | ○教務係、総務担当係       | ・3月28日(木)に、高知大学でSPOD合同FD/SD分科会の開催され、アクティブ・ラーニング教員センター員が参加した。校長出席としてSPOD事業の推進を実施した。                                                                              |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(エ) |                      | ② SPOD内講師派遣プログラムの開催                | ○AL教員センター      | ○教務係、総務担当係       | ・9月21日(金)に、SPOD内講師派遣プログラムを活用した「学生の存在を学生生活の奨励として」～高知大学～」を開催し、25名の教員を参加させた。                                                                                       |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(エ) | 【FD活動の実施】<br>【教員の研修】 | ③ その他研修ワークショップ、講演会、講演会への参加促進       | ○AL教員センター      | ○教務係             | ・東洋経済大学 第11回理工学教育研究委員会(BATEE016、9月18日から21日まで開催)に教員1名を派遣参加させた。招待者研修(2泊)研修教員を参加させた。                                                                               |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(エ) |                      | ④ 全県教員研修会への参加促進                    | ○AL教員センター      | ○教務係             | ・AL教員センターが中心となりSD推進委員「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教員採用をつくる。【招聘】高知大学准在学学生に「学部の存在を学生生活の奨励として、9月21日(金)にSD推進委員プログラムを活用した「学生の存在を学生生活の奨励として」～高知大学～」を開催し、25名の教員を参加させた。           |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(エ) |                      | ⑤ 新任教員研修の開催                        | ○教務係           | ○人事・教務係          | ・6月8日(金)～6月7日(木)に第14期が実施した新任教員研修会に本年度採用した3名の教員を参加させた。                                                                                                           |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(エ) |                      | ⑥ メンター教員研修の開催                      | ○AL教員センター      | ○教務係             | ・新任教員研修に宇部以上の教員を1名以上の新任教員サポート事業を実施。新任教員1名を宇部教員1名が担当した。3月に研修報告会を実施した。                                                                                            |               | A            |
| 2-3 教員研修 教員研修や生活支援などにおいて継続的な研修の提供を目的とした教員研修グループを教員の専門性の向上を図るため、毎年実施する。実施する内容は、次のとおり。   |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 継続                                                                                     | 110(オ) |                      | ① 組織の教員研修制度による教員の研修                | ○個人研修委員会       | ○人事・教務係          | ・教員研修については、4～5月に教員自己研修、7月に教員による教員研修、8月に学生による教員研修を実施した。その結果を基に11月に個人研修委員会を開催し、推進本部へ一報を提出し、推進本部1名を研修員として参加した。                                                     |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(オ) | 【研修は教員の研修】           | ② 学内教員研修制度による個別化教員の研修の提供           | ○個人研修委員会       | ○人事・教務係          | ・学内教員研修については、2月25日に開催した個人研修委員会において2名の教員(職員)が参加し、3月7日の教員会で報告を行った。                                                                                                |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(オ) |                      | ③ 京都科学大経済学系と連携し研修員が本校以外の教員研修会に参加する | ○個人研修委員会       | ○人事・教務係          | ・学内の教員研修の向上のため、平成30年度に本校に無い京都科学大経済学系との連携により研修員が本校以外の教員研修会に参加し、結果を一報に2月に開催した個人研修委員会でも報告を行った。                                                                     |               | A            |
| 2-4 教員派遣                                                                               |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 長期休暇を取りやすい県内の大学等と研究・研修する機会を設けることにより、教員の専門性の向上を図るため、教員の派遣促進への参加を図る。実施する内容は、次のとおり。       |        |                      |                                    |                |                  |                                                                                                                                                                 |               |              |
| 継続                                                                                     | 110(カ) | 【県内の大学等への派遣、研修】      | ① 県内の大学等への教員の派遣                    | ○派遣調整センター・教務係  | ○総務係、総務担当係       | ・平成29年4月から2年間の予定で、高専・高専科大専攻教員派遣制度により高専高専科科学大学に1名、国産工業高等専門学校に1名の教員を派遣している。<br>・平成23年度は国産工業高等専門学校に1名の教員を派遣し、1名の専攻科研究員の派遣が実施された。                                   |               | A            |
| 継続                                                                                     | 110(カ) | 【派遣調整センターの活用】        | ② 教員の派遣促進への参加促進                    | ○派遣調整センター      | ○総務係、教務係         | ・国産工業高等専門学校に13名の教員派遣に15名の教員を参加させた。                                                                                                                              |               | A            |

～～省略～～～～省略～～～～省略～～～～省略～～

出典「2019年度第1回運営会議 審議資料1 抜粋」

## 「FD活動の実施状況等がわかる資料-2」

2019年度 第1回アクティブラーニング教育センター連絡会 議事録

1. 日時 令和元年5月28日(火) 16:30から17:00

2. 場所 SD棟1F会議室

3. 出席者 センター長 [ ]、副センター長 [ ]  
 委員 [ ]、[ ] 学生課長  
 欠席 幹事 [ ] 教務係長

## 4. 審議事項

(1) ALセンター活動方針(資料1)

>>資料1に基づき学内全体のFD・SD活動について項目毎の実施方法や回数、位置づけなどを確認した。

(2) 新任教員のFD研修(資料2)

対象教員：本校着任以前に授業経験が3年未満の教員。

実施方法：アドバイス教員が対象教員の授業を参観し、報告書を作成後、報告会を実施する。

| 対象教員   | アドバイス教員 |
|--------|---------|
| [ ] 先生 | [ ] 先生  |

>>もう一名新任教員がいるので、本年度は対象を二名にしてはどうか  
 了承、[ ]先生も研修対象者とする。

[ ]先生のアドバイス教員は本人と相談の上センター長が決定する。

(3) 学生による授業評価アンケート改定

昨年度、教育目標達成状況を把握するアンケートに改定した。その是非検討。(資料3)

>>平成30年度外部評価機関などで自己点検評価項目として計上されている内容に限定して実施した結果、

「自分の授業改善につながる情報が収集できない」

「ほとんどの授業は教務規則に従い作成したシラバスどおりに授業を実施しているので、その実現程度を確認する調査を現在の規模(全学生、全科目で実施)で実施する必然性が低い」

など平成30年度調査に関する否定的意見が多く寄せられた。

従来のFD系質問復活や調査フォーム改善を含めた改善原案をセンター長が中心となり作成する。

(4) 2019年度の活動日程

(a) 授業評価アンケート日程と実施体制(資料4) &gt;&gt;承認

実施方針：全授業について教育目標の達成状況と運営の適切さを点検する。<<質問内容等は改定

実施方法：Web入力によるアンケート。

開示方法：Webでのグラフと教員のコメントを開示。教員によるコメント入力と開示(通年開講科目では、後期に前期との比較から、改善効果等についてコメント)。

前学期(6/24-7/12、教員コメント入力期限7/17、学生開示7/18-7/26)

後学期（12/16-1/10、教員コメント入力期限 1/17、学生開示 1/20-1/31）

(b)教員による相互授業参観日程（6/24-7/19）

期間中全授業を教員が相互参観，参観後に感想等を教育支援システムより登録  
複数の授業を参観してほしい。

>>全教員への呼びかけを教務委員会も活用して行う

(c)FD・SD研修会

SPOD講師派遣によるFD研修

9/12~~20~~ 13:30 から（キャリアデザイン室）：時間と場所は変更可能性あり <<日程記載誤訂正  
アクティブラーニング実践（だれでもできる！グループワークのためのファシリテーション）  
愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 ■■■■■ 先生

学外講師によるFD・SD講演会（現在企画中，講師推薦などあればセンター長に連絡を）

(d) 2019年度「教育上の工夫」アンケート調査実施について

>>実施了承

(e) 卒業生・修了生アンケートと企業アンケート：後期実施に向けて質問内容等検討

>>企業向けは，年度内実施される企業・業種研究会参加企業に手渡し配布

卒業生・修了生向けはGoogleFormsを利用して実施（前回の平成28年度調査から継続）。実施案内には校友会の協力が得られる。

5. 報告事項

（1）平成30年度学習教育目標の達成度評価結果（資料5）

>>回答率 本科卒業生62%，専攻科修了生84% ほぼ「達成」，個別コメント等詳細はファイル参照

6. その他

(a) 第13回国際工学教育研究集会（ISATE 2019）（9/17-20@徳山）

■■■■ 教員が参加手続中

>>参加旅費等の予算措置はあるのか？「会議・研修費」の枠内で措置している

次回開催：令和元年 後学期（予定）

出典「2019年度第1回アクティブラーニング教育センター連絡会 議事録」

## 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書」

## 平成29年度 FD/SD活動の取組報告

学校名：高知工業高等専門学校

## 【平成29年度の教育改革に関わる動向】

高知高専は四つの専門学科で構成されて来たが、平成28年度入学生より全学生を一本化入学させるソーシャルデザイン工学科に改組した。平成29年度はその2年目にあると同時に新学科の第二学年の新カリキュラム創設の年となった。旧来の専門学科では第二学年で専門の基礎科目及び実験系科目を実施していたが、新学科の第二学年では、旧来の専門学科すべての基礎を幅広く学ぶカリキュラムを実践した。

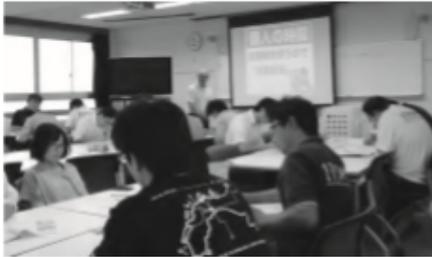
## 【FD/SDの取組事例ハイライト】

3年毎に行っている「卒業生へのアンケート調査」「企業へのアンケート調査」(平成28年度実施)の結果を集計し報告書を作成した。

新任教員3名のサポート教員を配置し、円滑な授業運営を支援する体制を整えた。

学生による授業評価アンケートを年間二度実施した。

SPOD内講師派遣プログラムにより、[ ]を講師として迎え「アクティブラーニング実践～試験紙法をやってみよう～」を開催し、21名の教員(全教員の約1/3)が参加し実践手法を学んだ。この他に学外のFD/SD講演会等に述べ9名の教職員が参加した。



(平成29年9月5日実施、SPOD内講師派遣プログラム)

本年4月の法令改正にあわせて、学内の教育改善活動を、SDに拡大することを全学的にアナウンスし、SD活動の第一歩として[ ] 中学高等学校副校長[ ]をお招きして「[ ]の学校改革」講演会を開催し、教職員84名(全教職員の約70%)及び他高専からも3名が参加した。

## 【成果及び波及効果】

上記アンケート調査報告書は学内公開した。アクティブラーニングやICT活用教育が学内に定着して来た。

## 【FD/SDに関わる次年度の課題】

新学科の第三学年の新しいカリキュラムを実施していく。

本校が15年間継続して来た学生による授業評価アンケートの質問内容はFDを主眼としたものであるが、社会の要求の変化にあわせて授業の適正さと教育目標の達成度を計る内容に更新する。

SD活動の推進を図る。

## 「FDの結果、改善に結びついた事例」

## 試験紙法授業実施報告

平成 30 年 3 月 1 日

1. 目的：試験紙法を取り入れた授業実践結果を報告する。

2. 試験紙法による授業（授業手法は資料 1）

実施科目：電気情報工学科 4 年生「電子回路 II」（週 2 時間，通年科目）

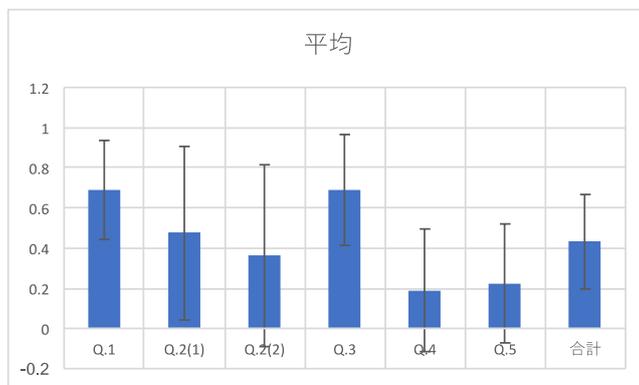
授業実施日：平成 29 年 10 月 5 日，12 日，26 日，平成 30 年 1 月 26 日

成果確認単元テスト：平成 29 年 11 月 8 日

3. 成果確認単元テストの成績と分析

昨年度の定期試験問題から授業範囲を抜粋して出題。各問正解を 1 に規格化して表記。昨年度の定期試験回答結果と比較でクラス平均点は，本年の方がやや高いが統計処理で有意な差はなかった。

択一回答，式導出問題は正答率が高かったが，文章回答問題は正答率が低かった。説明文章を書かせるトレーニングが不足していることが考えられる。



ブロック状のグラフが各問の正規化した平均点。

上下の棒線は得点の分散。

4. 事後アンケート

実施日：平成 29 年 10 月 5 日（初回），平成 30 年 1 月 26 日（最終回）

アンケート設問と結果

資料 2 の問に肯定的な回答は 5，否定的な回答は 1 とする 5 段階評価。

～～省略～～～～～～省略～～～～～～省略～～～～省略～～

## 「高知工業高等専門学校事務組織」

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
**高知工業高等専門学校**  
 National Institute of Technology, Kochi College

緊急情報連絡サイト | カスタム検索 | サイトマップ | 交通アクセス | お問い合わせ | English |

学校案内 | 学科・専攻科 | キャンパスライフ | 入学案内 | 就職・進学 | 教育・研究施設 | その他のご案内

> 学校案内 > 事務組織

## 事務組織

|               |               |                |        |
|---------------|---------------|----------------|--------|
| 事務部<br>(事務部長) | 総務課<br>(総務課長) | 課長補佐<br>(総務担当) | 総務係    |
|               |               |                | 企画係    |
|               |               |                | 人事・労務係 |
|               |               |                | 図書・情報係 |
|               |               |                | 財務係    |
|               | 学生課<br>(学生課長) | 課長補佐<br>(財務担当) | 契約係    |
|               |               |                | 施設係    |
|               |               | 課長補佐           | 教務係    |
|               |               |                | 留学支援係  |
|               |               |                | 生活支援係  |

(電話・FAX番号表:ダイヤルイン)

※外線からの電話は088-864-5 につづいて( ) 中の内線番号をダイヤルして下さい。

課長補佐: 総務担当 (601) ※FAX (606)

- 情報公開 (個人情報保護を含む)
- 教職員衛生管理
- 労務管理
- 情報セキュリティ

[組織図に戻る](#)

総務係 (500, 603) ※FAX (606)

出典「高知高専 HP: <https://www.kochi-ct.ac.jp/college/office>」

## 「高知工業高等専門学校教育研究支援センター」

## National Institute of Technology, Kochi College



## 「高知工業高等専門学校図書館規程」

## 高知工業高等専門学校図書館規程

制 定 昭和40年 4月 1日  
一部改正 平成27年 2月19日

(趣旨)

**第1条** この規程は、高知工業高等専門学校内部組織規則第4条第6項の規定に基づき、高知工業高等専門学校図書館（以下「図書館」という。）について、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** 図書館は、図書及び図書資料（以下「図書」という。）を収集、管理し、校内一般の利用に供するとともに、教育及び研究並びに教養の向上に資することを目的とする。

(図書館長)

**第3条** 図書館長は、図書館を統轄する。

(図書)

**第4条** 図書館において管理する図書は、次の5種類とする。

- (1) 一般図書（研究用図書、教養図書）
- (2) 貴重図書及び図書資料（CD、DVD、ビデオテープ等）
- (3) 辞典及び索引の類
- (4) 刊行物、雑誌、新聞、その他
- (5) 寄贈、寄託図書

(個人情報の漏えい防止)

**第5条** 前条において管理する歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料に記録されている個人情報（公文書等の管理に関する法律施行令（平成22年12月22日政令第250号）第4条第5号で規定する個人情報をいう。）については、独立行政法人国立高等専門学校機構個人情報管理規則（機構規則第65号）第40条の規定に基づき、その漏えい防止のための措置を講ずるものとする。

(開館日等)

**第6条** 図書館の開館、閉館日時及び休館日は、次のとおりとする。ただし、図書館長が必要と認める時は、随時変更することができる。

開館 午前8時30分から午後7時まで（土曜日は午前9時から午後1時まで）

高知工業高等専門学校学則第6条第1項第4号から第7号に定める休業期間（以下、「休業期間」という。）中は、午前8時30分から午後5時まで

閉館 日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する日、休業期間中の土曜日及び図書館長が必要と認めた日

(利用者)

**第7条** 図書館を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 本校の教職員及び学生
- (2) 本校以外の者で図書館の利用を申し出た一般の利用者

(利用許可証)

**第8条** 前条に掲げる者が図書館を利用する場合は、第1号の者は身分を証明するものを、第2号の者は利用許可証を係員に提示するものとする。

(利用区分)

**第9条** 利用者は、次に掲げる区分により図書館を利用することができる。

- (1) 館内閲覧
- (2) 館外貸出し
- (3) 参考調査
- (4) 文献複写
- (5) 書庫内図書閲覧

(閲覧・貸出し)

**第10条** 閲覧図書の冊数及び期間は、次のとおりとする。

館内閲覧の場合 制限なし

館外貸出しの場合

| 区 分     | 時 期 等 | 貸出冊数  | 貸出期間  |
|---------|-------|-------|-------|
| 教 職 員   | 通 常   | 10冊以内 | 30日以内 |
| 本 科 生   | 通 常   | 3冊以内  | 14日以内 |
|         | 休業期間中 | 4冊以内  | 休業期間中 |
| 専 攻 科 生 | 通 常   | 5冊以内  | 14日以内 |
|         | 休業期間中 | 5冊以内  | 休業期間中 |
| 一般の利用者  | 通 常   | 3冊以内  | 7日以内  |

なお、教職員が教育、研究、実習又は事務処理上必要とする図書の貸出しについては所定の手続を経て研究室、事務室に必要期間備え置くことができる。

(貸出し禁止図書)

**第11条** 次の図書は、貸出しを許可しない。

- 1 貴重図書
- 2 辞典及び図鑑類
- 3 雑誌(最新号)
- 4 その他指定図書

(返納)

**第12条** 貸出し図書は転貸してはならない。貸出期間の終了した図書は直ちに返納しなければならない。

- 2 教職員が転任又は退職する時は、貸出し中の図書を返納しなければならない。
- 3 学生が卒業、退学又は休学する時は、貸出し中の図書を返納しなければならない。
- 4 貸出し中の図書は貸出期間中であっても、図書館長から請求のあった時は直ちに返納しなければならない。

(書庫内検索)

**第13条** 利用者が書庫内で図書の検索を希望する時は、係員の許可を得なければならない。

(規律)

**第 14 条** 図書館では、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 静粛にすること。
- (2) 館内の秩序を乱さないこと。
- (3) 館内での飲食喫煙をしないこと。
- (4) 図書、器具その他の設備を汚損しないこと。
- (5) 他人の迷惑になるような行為をしないこと。
- (6) その他係員の指示に従うこと。

(弁償)

**第 15 条** 利用者は、図書を破損、汚染又は紛失した時は、直ちに係員に届け出るとともに、同一の図書又は相当代金をもって弁償しなければならない。

(利用の禁止等)

**第 16 条** 本規程、図書館の掲示事項又は係員の指示に違反した者には、図書館の利用を停止又は禁止する。

(雑則)

**第 17 条** 図書を利用者の閲覧に供するため、図書の目録及びこの規程を常時閲覧室内に備え付けるものとする。

**附 則**

この規程は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、昭和 50 年 1 月 31 日から施行する。

**附 則**

この規程は、昭和 52 年 9 月 5 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 3 年 1 月 17 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 23 年 9 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成24年5月17日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

出典「高知高専 HP：[https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/106010\\_kisoku-270219.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/106010_kisoku-270219.pdf)」

## 「高知工業高等専門学校情報処理センター規則」

## 高知工業高等専門学校情報処理センター規則

制 定 平成19年3月30日  
一部改正 平成27年6月18日

(趣旨)

**第1条** この規則は、高知工業高等専門学校内部組織規則第3条第6項の規定に基づき、高知工業高等専門学校情報処理センター（以下「センター」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** センターは、高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）の学内情報基盤の維持管理、運用及び設計並びに学内情報資源の有効活用のための企画、調整及び技術支援を行うことを目的とする。

(業務)

**第3条** センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学内情報基盤の維持管理及び運用に関すること。
- (2) 学内情報基盤の基本計画及び設計に関すること。
- (3) 学内情報基盤の利用についての技術支援に関すること。
- (4) 学内情報システムのセキュリティ管理に関すること。
- (5) 学内情報資源の有効活用のための企画、調整及び技術支援に関すること。
- (6) 学外情報処理センター、広域ネットワーク等との連携に関すること。
- (7) その他センターの目的を達成するために必要な業務。

(組織)

**第4条** センターに、次の各号に掲げる教職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) センター員
- (4) その他必要と認めたる者 若干名

(センター員)

**第5条** センター員は、本校の教育研究支援センターの中からセンター長の推薦に基づき校長が命ずる。

- 2 センター員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 センター員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 センター員は、センター長の命を受け、センターの業務に従事する。

(運営委員会)

**第6条** センターに、その運営に関する重要事項を審議するため運営委員会を置く。

- 2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

**第7条** センターに関する事務は、総務課において処理する。

(雑則)

**第8条** この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、別に定める。

**附 則**

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 高知工業高等専門学校情報化推進室規則（平成10年3月5日制定）は廃止する。

**附 則**

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則**

この規則は、平成27年6月18日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

出典「高知高専 HP：[https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/107020\\_kisoku-270618.pdf](https://www.kochi-ct.ac.jp/files/uploads/107020_kisoku-270618.pdf)」



## 「技術職員研修等の実施状況を示す資料-1」

平成30年度四国地区国立高等専門学校技術職員研修・代表者会議  
実施要項

## 1 目的

この研修は、四国地区国立高等専門学校の技術職員に対して、その職務遂行に必要な専門的知識を習得させるとともに、技術発表などを通して、相互啓発の機会を与えることにより技術職員の資質向上、技術の継承等を図る。

また、四国地区国立高等専門学校技術職員代表者による会議（代表者会議）により、当四国地区国立高等専門学校技術職員研修の内容、技術職員と技術組織の抱える課題、及び、今後の方向性について意見交換を行い、技術職員全体の資質向上並びに各技術職員組織の活性化を図り、技術教育研究と地域貢献等に資することを目的とする。

## 2 主催

四国地区国立高等専門学校

## 3 主管校

新居浜工業高等専門学校

## 4 研修・会議分野

全分野

## 5 研修・会議期間

平成30年9月6日（木）～9月7日（金）

## 6 研修・会議場所

新居浜工業高等専門学校 〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7-1

## 7 受講対象者

- (1) 各高等専門学校から推薦のあった技術職員1名（技術発表）、代表者1名（会議出席）とする。
- (2) 受講者は各校（キャンパス毎）から研修者1名、代表者1名とし、合計12名と  
主管校の教育系技術職員全員、合計20名程度とする。

## 8 経費の負担

- (1) 参加者の旅費（宿泊費、交通費等）は、派遣校の負担とする。

～～省略～～～～～～～～省略～～～～～～～～省略～～～～～～～～省略～～

出典「平成30年度四国地区国立高等専門学校技術職員研修・代表者会議 実施要項」

## 「技術職員研修等の実施状況を示す資料-2」

平成30年度中国・四国地区国立大学法人等  
 技術職員研修（情報系、生物・生命系、農学系分野）  
 研修実施要項

## 1. 研修の目的

中国・四国地区国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の技術職員相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得させ、職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

## 2. 到達目標（研修修了時に身につけられる能力等）

- ・国立大学法人等の管理・運営に関する基本的、一般的知識の習得。
- ・講義による専門的知識および実習による専門技術の習得。

## 3. 主催

一般社団法人国立大学協会中国四国支部  
 国立大学法人岡山大学  
 独立行政法人国立高等専門学校機構津山工業高等専門学校

## 4. 実施期間

平成30年8月29日（水）～平成30年8月31日（金）

## 5. 受講対象者及び受講者数

- (1) 受講対象者は、各機関の技術職員相当の職にあるもので、各機関から推薦されたものとする。
- (2) 受講者数は、50～60名とする。
  - ・国立大学法人・・・各法人5名程度
  - ・高等専門学校・・・各校（キャンパス）1名程度
- (3) 分野別実習の定員については以下のとおりとし、いずれも人数調整を行う場合がある。
  - ・情報系分野1テーマ：20名程度
  - ・生物・生命系分野1テーマ（2コース）：10名程度
  - ・農学系分野1テーマ（2コース）：各10名程度（計20名程度）
- (4) 参加者各人の希望やレベルに合う丁寧なサポートができるように、参加希望者は「研修受講者推薦書」に専門分野、担当装置とスキルおよびレベルを記入する。

～～省略～～～～～～～～省略～～～～～～省略～～～～～～省略～～

出典「平成30年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修（情報系、生物・生命系、農学系分野）研修実施要項」